

公立大学法人宮城大学
業務実績報告書
附属資料

(令和3年度)
【事業年度評価】

令和4年6月
公立大学法人宮城大学

目 次

I 法人の基礎的数値・中期計画に数値目標を掲げている項目等(6年間程度の推移が分かるもの)	
第1 教育研究の質向上に関する数値	
1 教育	
(1) 入学者の受入	
イ 学士課程	
① 志願倍率	P 5
② 実質競争倍率	P 5
③ 入学率	P 6
④ 県内高校生の入学者比率	P 6
⑤ 入学者の定員超過率	P 6
⑥ 本学を第一志望とする入学者数の割合〔指標〕	P 7
⑦ 社会人入学者	P 7
⑧ 研究生等入学者	P 7
ロ 大学院課程	
① 志願倍率	P 8
② 実質競争倍率	P 8
③ 入学率	P 9
④ 入学者の定員充足率〔指標〕	P 9
⑤ 社会人入学者	P 10
⑥ 研究生等入学者	P 10
(2) 教育の内容等	
イ 学士課程	
① 学生の状況	P 11
② 学生満足度調査の回収率	P 12
③ 期間中の地域連携型実践教育科目履修者(アソシエイト取得者)総数〔指標〕	P 12
④ 地域連携型実践教育科目履修者の自己評価〔指標〕	P 12
ロ 大学院課程	
① 学生の状況	P 13
(3) 教育実施体制等	
ロ 教員・教員組織	
① 専任教員	P 14
② 非常勤講師等	P 15
③ 専任教員の担当科目比率	P 16
④ 教員採用時の公募制実施率	P 16
⑤ 教員選考時のプレゼンテーション実施率	P 16
⑥ 教員比率	P 16
⑦ 授業評価の科目実施率	P 17
⑧ 対象科目に係る授業評価の実施率	P 17
⑨ 学生の授業評価回答率	P 17
⑩ 教員のFD参加率	P 17
(4) 学生への支援	
イ 学修・生活支援	
① 学生の休学率・退学率	P 18
② 生活支援	P 18
③ 経済的支援(奨学金受入)	P 18
④ 経済的支援(授業料減免)	P 19
ロ キャリア形成支援	
① 卒業生就職率(学群)〔指標〕	P 20
② 卒業者に対する就職者の割合(学群)	P 20
③ 卒業者に対する進学者の割合(学群)	P 21
④ 県内就職者比率(学群)	P 22
⑤ 国家資格試験合格率(看護師・保健師等)〔指標〕	P 23

	⑥ 各種免許資格取得者数（養護教諭（一種））	P 23
	⑦ 就職支援	P 23
	⑧ 就職率（大学院）	P 24
	⑨ 修了者に対する就職者の割合（大学院）	P 24
	⑩ 県内就職者比率（大学院）	P 25
	2 研究	
	（1） 研究水準（研究成果）の状況及び教員一人あたりの研究成果発表件数〔指標〕	P 26
	（2） 外部研究資金の受入状況〔指標〕	P 28
	（3） 科学研究費補助金の応募・採択状況	P 29
	（4） 外部教育資金の受入状況	P 29
	（5） 奨学寄附金等の受入状況	P 29
	（6） 外部資金獲得総額	P 29
	3 教育研究等環境の整備	
	（1） 蔵書数	P 30
	（2） 図書館への入館者数	P 30
	（3） 図書館の館外貸出冊数	P 30
第2	地域貢献等に関する数値	
	1 地域貢献	
	（1） 公開講座等の開催（延べ参加者数含む）〔指標〕	P 31
	（2） 単位互換授業の状況	P 31
	（3） 連携協定等	P 32
	（4） 市町村等の各種委員・講師の派遣件数〔指標〕	P 32
	（5） 市町村や企業等との連携事業・受託事業数〔指標〕	P 32
	2 国際交流	
	（1） 協定締結数	P 33
	（2） 外国人留学生数	P 33
	（3） 海外派遣学生枠〔指標〕	P 34
第3	業務運営の改善及び効率化に関する数値	
	1 人事の適性化	
	（1） 職員（教員を除く）及び非常勤職員等の状況	P 35
第4	その他業務運営に関する数値	
	1 安全管理	
	（1） 個人情報漏洩事故件数〔指標〕	P 36
第5	県の規則で定める常務運営に関する数値	
	3 施設整備に関する計画	
	（1） 土地	P 37
	（2） 建物	P 37
II	法人が策定した指針・計画等	P 39
III	各審議会・委員会等の名簿	P 69
IV	その他業務実績評価の実施に当たり根拠となる資料	
	1 MYU GUIDE 2023	別冊

I 法人の基礎的数値・中期計画に数値目標を掲げている
項目等（6年間程度の推移が分かるもの）

第1 教育の質向上に関する数値

1 教育

(1) 入学者の受入

イ 学士課程

①志願倍率

(単位：倍)

		2017	2018	2019	2020	2021	2022	備 考
全 選 抜 方 法	学群計	4.0	4.5	4.2	4.0	4.2	4.2	
	看護学群	5.3	4.6	4.8	4.4	4.3	4.1	
	事業構想学群	3.6	4.5	3.7	3.9	4.5	4.0	
	食産業学群	4.0	4.5	4.4	4.0	3.7	4.8	
う ち 一 般 選 抜	学群計	5.1	5.8	5.4	5.1	5.4	5.4	
	看護学群	6.7	5.0	5.5	4.9	4.5	4.2	
	事業構想学群	4.2	5.7	4.6	4.8	6.0	5.1	
	食産業学群	5.3	6.5	6.6	5.9	5.3	6.9	

※志願倍率＝志願者数÷入学定員（募集人員）×100 小数点以下第2位を四捨五入

②実質競争倍率

(単位：倍)

		2017	2018	2019	2020	2021	2022	備 考
全 選 抜 方 法	学群計	2.4	2.7	2.4	2.3	2.4	2.4	
	看護学群	3.2	2.6	2.8	2.7	2.9	2.5	
	事業構想学群	2.3	3.0	2.3	2.4	2.7	2.4	
	食産業学群	2.1	2.4	2.2	1.8	1.6	2.4	
う ち 一 般 選 抜	学群計	2.5	2.8	2.4	2.2	2.4	2.5	
	看護学群	3.6	2.4	2.7	2.4	2.4	1.8	
	事業構想学群	2.1	3.1	2.3	2.4	2.9	2.5	
	食産業学群	2.2	2.6	2.3	1.8	1.7	3.0	

※実質競争倍率＝受験者数÷合格者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

※総合型選抜入試に係る受験者数については、第二次選考の受験者数を計上し、算定。

③入学率

		2017	2018	2019	2020	2021	2022	備 考
全 選 抜 方 法	学群計	95.4%	93.1%	93.4%	92.0%	95.6%	93.9%	
	看護学群	95.1%	93.2%	96.2%	97.2%	99.0%	99.0%	
	事業構想学群	97.7%	96.3%	95.6%	93.8%	96.0%	92.1%	
	食産業学群	92.2%	88.0%	88.2%	85.6%	92.6%	93.2%	
う ち 一 般 選 抜	学群計	93.1%	90.0%	91.1%	89.6%	93.3%	90.9%	
	看護学群	92.5%	89.9%	94.2%	95.5%	98.4%	98.4%	
	事業構想学群	96.5%	95.1%	93.9%	92.8%	93.8%	88.8%	
	食産業学群	88.0%	82.7%	85.7%	82.1%	89.3%	88.9%	

※入学率＝入学者数÷合格者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

④県内高校生の入学者比率

		2017	2018	2019	2020	2021	2022	備 考
学群計		65.1%	63.3%	63.8%	66.6%	61.6%	63.8%	
看護学群		58.2%	54.2%	72.0%	71.8%	62.4%	69.6%	
事業構想学群		78.1%	74.2%	71.6%	71.7%	67.4%	70.0%	
食産業学群		49.2%	52.0%	45.2%	54.2%	51.8%	50.0%	

※県内高校生の入学者比率＝県内高校からの入学者数÷入学者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

⑤入学者の定員超過率

		2017	2018	2019	2020	2021	2022	備 考
学群計		103.1%	102.4%	107.1%	106.2%	107.9%	107.1%	
看護学群		103.2%	101.1%	105.3%	108.4%	106.3%	107.4%	
事業構想学群		105.0%	104.5%	107.5%	106.0%	107.5%	105.0%	
食産業学群		104.0%	100.0%	108.0%	104.8%	109.6%	110.4%	

※入学者の定員超過率＝入学者数÷入学定員（募集人員）×100 小数点以下第2位を四捨五入

⑥本学を第一志望とする入学者数の割合（66%以上/年）【指標】

入学年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	備 考
学群計						67.9%	
看護学群						74.5%	
事業構想学群						68.4%	
食産業学群						62.3%	

⑦社会人入学者

	2017	2018	2019	2020	2021	2022	備 考
学群（学部）計	0.5%	0.2%	0.2%	0.4%	0.0%	0.2%	※2022年度より生物生産学類設置、食資源開発学類募集停止
看護学群（学部）							
社会人の受入比率	2.0%	1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	1.0%	
事業構想学群（学部）							
社会人の受入比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
（事業計画学科）	0.0%						
（デザイン情報学科）	0.0%						
事業プランニング学類							
地域創生学類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
価値創造デザイン学類							
食産業学群（学部）							
社会人の受入比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	
（ファームビジネス学科）	0.0%						
（フードビジネス学科）	0.0%						
（環境システム学科）	0.0%						
食資源開発学類/生物生産学類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
フードマネジメント学類							

⑧研究生等入学者

（単位：人）

	2017	2018	2019	2020	2021	2022	備 考
学群	7	2	11	3	1	2	事業構想学群1名、食産業学群1名
研究生	2	0	2	0	0	2	
科目等履修生	5	2	0	3	1	0	
特別聴講生	0	0	9	0	0	0	

□ 大学院課程

①志願倍率

(単位：倍)

		2017	2018	2019	2020	2021	2022	備 考
全 選 抜 方 法	大学院計	0.8	0.8	0.6	0.8	0.8	0.9	
	看護学研究科	0.9	1.5	0.8	1.2	0.4	1.1	
	博士課程前期	1.0	1.3	0.8	1.4	0.4	1.2	
	博士課程後期	0.7	2.0	1.0	0.3	0.3	0.7	
	事業構想学研究科	0.7	0.5	0.5	0.6	0.8	0.5	
	博士課程前期	0.7	0.6	0.5	0.6	0.9	0.4	
	博士課程後期	1.0	0.3	0.7	0.7	0.7	1.0	
	食産業学研究科	0.9	0.5	0.7	0.7	1.1	1.4	
	博士課程前期	0.8	0.6	0.6	0.8	1.1	1.7	
	博士課程後期	1.0	-	1.0	0.3	1.0	0.3	

※志願倍率＝志願者数÷入学定員（募集人員）×100 小数点以下第2位を四捨五入

②実質競争倍率

(単位：倍)

		2017	2018	2019	2020	2021	2022	備 考
全 選 抜 方 法	大学院計	1.0	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	
	看護学研究科	1.1	1.4	1.4	1.1	1.3	1.4	
	博士課程前期	1.1	1.4	1.2	1.1	1.3	1.5	
	博士課程後期	1.0	1.5	3.0	1.0	1.0	1.0	
	事業構想学研究科	1.0	1.0	1.0	1.1	1.1	1.0	
	博士課程前期	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1	1.0	
	博士課程後期	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	
	食産業学研究科	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
	博士課程前期	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
	博士課程後期	1.0	-	1.0	1.0	1.0	1.0	

※実質競争倍率＝受験者数÷合格者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

③入学率

		2017	2018	2019	2020	2021	2022	備 考
全 選 抜 方 法	大学院計	95.0%	96.7%	96.6%	100.0%	97.2%	100.0%	
	看護学研究科	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	博士課程前期	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	博士課程後期	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	事業構想学研究科	100.0%	90.9%	90.9%	100.0%	94.1%	100.0%	
	博士課程前期	100.0%	90.0%	88.9%	100.0%	93.3%	100.0%	
	博士課程後期	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	食産業学研究科	85.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	博士課程前期	90.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	博士課程後期	66.7%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

※入学率＝入学者数÷合格者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

④入学者の定員充足率【指標】

		2017	2018	2019	2020	2021	2022	備 考
大学院計		73.1%	55.8%	53.8%	71.2%	67.3%	73.1%	
看護学研究科	看護学研究科	84.6%	92.3%	53.8%	107.7%	30.8%	69.2%	
	博士課程前期	90.0%	80.0%	60.0%	130.0%	30.0%	80.0%	
	博士課程後期	66.7%	133.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	
事業構想学研究科	事業構想学研究科	65.2%	43.5%	43.5%	52.2%	69.6%	47.8%	
	博士課程前期	60.0%	45.0%	40.0%	55.0%	70.0%	40.0%	
	博士課程後期	100.0%	33.3%	66.7%	33.3%	66.7%	100.0%	
食産業学研究科	食産業学研究科	75.0%	43.8%	68.8%	68.8%	93.8%	112.5%	
	博士課程前期	76.9%	53.8%	61.5%	76.9%	92.3%	130.8%	
	博士課程後期	66.7%	-	100.0%	33.3%	100.0%	33.3%	

※入学者の定員超過率＝入学者数÷入学定員（募集人員）×100 小数点以下第2位を四捨五入

⑤社会人入学者

	2017	2018	2019	2020	2021	2022	備 考
大学院計	32.3%	51.7%	54.5%	43.2%	31.4%	31.6%	
看護学研究科							
社会人の受入比率	88.9%	100.0%	100.0%	71.4%	75.0%	77.8%	
事業構想学研究科							
社会人の受入比率	8.3%	66.7%	75.0%	50.0%	37.5%	27.2%	
食産業学研究科							
社会人の受入比率	10.0%	14.3%	0.0%	0.0%	13.3%	11.1%	

※社会人の受入比率＝社会人入学者数÷入学者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

⑥研究生等入学者

(単位：人)

	2017	2018	2019	2020	2021	2022	備 考
大学院	3	6	8	4	3	3	看護学 (D) 1名
研究生	1	1	2	2	1	1	
科目等履修生	2	5	6	2	2	2	
特別聴講生	0	0	0	0	0	0	

(2) 教育の内容

イ 学士課程

① 学生の状況

(単位：人)

(新年度の状況)	R4				定員 超過率 (b/a)	備 考
	収容 定員 (a)	在籍者数(b)				
		男	女	計		
看護学群 (学部)	380	28	383	411	108.2%	
事業構想学群 (学部)	800	373	486	859	107.4%	
事業プランニング学類	240	84	124	208	107.4%	
地域創生学類	240	101	100	201		
価値創造デザイン学類	320	103	172	275		
学群一括募集分	—	85	90	175		
食産業学群 (学部)	500	169	373	542	108.4%	
ファームビジネス学科	—	1	1	2	108.0%	
食資源開発学類	186	81	114	195		
フードマネジメント学類	252	48	169	217		
生物生産学類	62	7	6	13		
学群一括募集分	—	32	83	115		
合 計	1,680	570	1,242	1,812	107.9%	

(過年度の状況)	H29				H30				R1				R2				R3			
	収容 定員	在籍者数			収容 定員	在籍者数			収容 定員	在籍者数			収容 定員	在籍者数			収容 定員	在籍者数		
		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計
看護学部	380	28	362	390	380	27	371	398	380	26	378	404	380	26	380	406	380	24	379	403
事業構想学部	800	367	487	854	800	375	483	858	800	363	496	859	800	370	490	860	800	372	494	866
事業計画学科	300	154	176	330	200	103	122	225	100	51	68	119	—	6	3	9	—	0	1	1
デザイン情報学科	300	119	195	314	200	83	133	216	100	41	69	110	—	4	9	13	—	0	2	2
事業プランニング学類	60	6	6	12	120	27	49	76	180	49	91	140	240	75	128	203	240	88	119	207
地域創生学類	60	1	7	8	120	37	34	71	180	71	63	134	240	96	97	193	240	102	100	202
価値創造デザイン学類	80	3	7	10	160	37	54	91	240	76	97	173	320	104	153	257	320	101	168	269
学群一括募集分	—	84	96	180	—	88	91	179	—	75	108	183	—	85	100	185	—	81	104	185
食産業学部	500	184	355	539	500	176	350	526	500	169	355	524	500	156	366	522	500	170	368	538
ファームビジネス学科	126	54	85	139	84	44	50	94	42	22	24	46	—	0	0	0	—	1	0	1
フードビジネス学科	156	34	131	165	104	21	89	110	52	14	41	55	—	2	3	5	—	1	2	3
環境システム学科	93	58	47	105	62	38	30	68	31	20	17	37	—	0	0	0	—	0	0	0
食資源開発学類	62	4	6	10	124	27	44	71	186	48	83	131	248	78	122	200	248	83	121	204
フードマネジメント学類	63	2	9	11	126	14	58	72	189	26	111	137	252	42	165	207	252	43	170	213
学群一括募集分	—	32	77	109	—	32	79	111	—	39	79	118	—	34	76	110	—	42	75	117
合 計	1,680	579	1,204	1,783	1,680	578	1,204	1,782	1,680	558	1,229	1,787	1,680	552	1,236	1,788	1,680	566	1,241	1,807

②学生満足度調査の回収率

卒業・修了年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
大学計	95.5%	96.5%	97.4%	11.5%	21.0%	26.0%	2018年度までは卒業式当日に紙媒体で実施，2019年度よりウェブ回答。
学部卒業者	96.4%	97.2%	98.1%	10.6%	21.2%	24.8%	
大学院修了者	87.2%	86.7%	87.9%	25.0%	18.2%	39.5%	

③期間中の地域連携型実践教育科目履修者（アソシエイト取得者）総数（210名 令和8年度）【指標】

C Pアソシエイト授与年度		2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
累計値	目標						35人	毎年35名，6年間で延べ210名輩出することを目標とする。
	実績						41人	
単年度	実績						41人	

※各年度に記載する実績値は，当該年度の「CPアソシエイト修了書授与者」

④地域連携型実践教育科目履修者の自己評価（平均A:85点以上 令和8年度）【指標】

C Pアソシエイト授与年度		2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
目 標							75点	今年度は試行実施の段階。右記は4年生の試行実施結果を記載した。同様に実施した3年生の実施結果は86点であった。
実 績							84点	

ロ 大学院課程

①学生の状況

(単位：人)

(新年度の状況)	R4				定員 充足率 (b/a)	備 考
	収容 定員 (a)	在籍者数(b)				
		男	女	計		
看護学研究科	29	1	15	16	55.2%	
博士課程前期	20	0	12	12	60.0%	
博士課程後期	9	1	3	4	44.4%	
事業構想学研究科	49	22	10	32	65.3%	
博士課程前期	40	16	6	22	55.0%	
博士課程後期	9	6	4	10	111.1%	
食産業学研究科	35	16	20	36	102.9%	
博士課程前期	26	12	18	30	115.4%	
博士課程後期	9	4	2	6	66.7%	
合 計	113	39	45	84	74.3%	

(過年度の状況)	H29				H30				R1				R2				R3			
	収容 定員	在籍者数			収容 定員	在籍者数			収容 定員	在籍者数			収容 定員 (a)	在籍者数(b)			収容 定員 (a)	在籍者数(b)		
		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計
看護学研究科	29	2	34	36	29	2	34	36	29	5	27	32	29	6	24	30	29	5	22	27
博士課程前期	20	1	23	24	20	1	22	23	20	4	15	19	20	5	16	21	20	4	16	20
博士課程後期	9	1	11	12	9	1	12	13	9	1	12	13	9	1	8	9	9	1	6	7
事業構想学研究科	49	32	11	43	49	22	12	34	49	18	7	25	49	18	8	26	49	20	13	33
博士課程前期	40	17	9	26	40	13	9	22	40	14	3	17	40	15	4	19	40	16	9	25
博士課程後期	9	15	2	17	9	9	3	12	9	4	4	8	9	3	4	7	9	4	4	8
食産業学研究科	35	9	14	23	35	6	16	22	35	7	16	23	35	11	15	26	35	13	19	32
博士課程前期	26	6	9	15	26	5	11	16	26	5	10	15	26	9	9	18	26	8	13	21
博士課程後期	9	3	5	8	9	1	5	6	9	2	6	8	9	2	6	8	9	5	6	11
合 計	113	43	59	102	113	30	62	92	113	30	50	80	113	35	47	82	113	38	54	92

(3) 教育実施体制等

ロ 教員・教員組織

①専任教員

(単位：人)

(過年度/新年度の状況)	R1							R2							R3							R4							前年度との差
	計	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	
看護学群	51	1	15	9	6	19	1	46	1	13	9	5	15	3	48	1	13	9	10	12	3	47	1	10	12	7	13	4	▲1
事業構想学群	34	2	21	6	3	2	0	33	2	20	8	2	1	0	34	2	21	7	2	2	0	35	2	19	10	1	3	0	1
事業プランニング学類	10	0	8	0	2	0	0	9	0	7	0	2	0	0	9	0	7	0	2	0	0	10	0	7	2	1	0		
地域創生学類	7	1	2	3	1	0	0	9	1	3	5	0	0	0	12	1	6	4	0	1	0	11	1	5	4	0	1		
価値創造デザイン学類	17	1	11	3	0	2	0	15	1	10	3	0	1	0	13	1	8	3	0	1	0	14	1	7	4	0	2		
食産業学群	40	1	22	10	2	5	0	37	1	20	6	3	7	0	40	1	23	7	3	6	0	38	1	21	10	2	4	0	▲2
生物生産学類(食資源開発学類)	23	0	15	3	2	3	0	20	0	12	2	3	3	0	22	0	13	4	3	2	0	21	0	12	6	2	1	0	
フードマネジメント学類	17	1	7	7	0	2	0	17	1	8	4	0	4	0	18	1	10	3	0	4	0	17	1	9	4	0	3	0	
基盤教育群	15	0	6	6	2	1	0	15	0	6	6	2	1	0	14	0	6	6	1	1	0	14	0	7	5	2	0	0	0
研究推進・地域未来共創センター (地域連携センター)	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
合計	141	4	64	32	13	27	1	132	4	59	30	12	24	3	137	4	63	30	16	21	3	135	4	57	38	12	20	4	▲2

※「教授」のうち副学長は「副学長」の欄にカウント

(過年度の状況)	H29					H30				
	計	教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教
看護学群(学部)	49	16	7	6	20	48	17	6	6	19
事業構想学群(学部)	32	23	6	1	2	31	20	8	1	2
事業計画学科	16	11	4	1	0	15	9	5	1	0
デザイン情報学科	16	12	2	0	2	16	11	3	0	2
食産業学群(学部)	43	23	14	3	3	42	25	10	3	4
ファームビジネス学科	16	10	3	1	2	15	10	2	1	2
フードビジネス学科	15	6	8	1	0	14	8	5	1	0
環境システム学科	12	7	3	1	1	13	7	3	1	2
国際交流・留学生センター	5	1	2	1	1	0	0	0	0	0
地域連携センター	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
基盤教育群/共通教育センター	10	4	5	1	0	15	6	6	2	1
合計	139	67	34	12	26	137	68	31	12	26

②非常勤講師等

(単位：人)

(過年度/新年度の状況)	R1						R2						R3						R4						前年度との差
	計	教授	准教授	講師	助教	助手	計	教授	准教授	講師	助教	助手	計	教授	准教授	講師	助教	助手	計	教授	准教授	講師	助教	助手	
看護学群 (学部)	15	9	2	4	0	0	9	5	4	0	0	0	6	2	3	1	0	0	11	6	4	1	0	0	5
看護学群 (特任教員)	3	2	1	0	0	0	2	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	1
看護学研究科	22	12	3	7	0	0	15	10	1	4	0	0	6	4	1	1	0	0	18	10	5	2	1	0	12
事業構想学群 (学部)	44	26	10	8	0	0	65	38	19	8	0	0	56	30	14	12	0	0	106	52	23	23	8	0	50
事業プランニング学類	8	3	0	5	0	0	22	10	7	5	0	0	16	6	5	5	0	0	33	14	8	7	4	0	17
地域創生学類	15	11	2	2	0	0	18	12	5	1	0	0	25	17	4	4	0	0	38	17	9	10	2	0	13
価値創造デザイン学類	8	5	3	0	0	0	25	16	7	2	0	0	15	7	5	3	0	0	35	21	6	6	2	0	20
(事業計画学科)	11	6	4	1	0	0																			
(デザイン情報学科)	2	1	1	0	0	0																			
事業構想学群 (特任教員)	4	1	3	0	0	0	3	0	3	0	0	0	3	0	2	1	0	0	2	0	0	0	2	0	▲ 1
事業構想学研究科	18	15	2	1	0	0	35	20	12	3	0	0	12	5	5	2	0	0	25	8	8	9	0	0	13
食産業学群 (学部)	52	42	10	0	0	0	57	46	10	1	0	0	8	2	5	1	0	0	27	17	7	3	0	0	19
食資源開発学類	20	13	7	0	0	0	24	15	8	1	0	0	5	2	2	1	0	0	7	3	3	1	0	0	2
フードマネジメント学類	26	24	2	0	0	0	33	31	2	0	0	0	3	0	3	0	0	0	20	14	4	2	0	0	17
(ファームビジネス学科)	0	0	0	0	0	0																			
(フードビジネス学科)	1	1	0	0	0	0																			
(環境システム学科)	5	4	1	0	0	0																			
食産業学群 (特任教員)	4	2	0	2	0	0																			3
食産業学研究科	6	6	0	0	0	0	12	11	0	1	0	0	3	3	0	0	0	0	6	5	1	0	0	0	3
基盤教育群	15	5	0	10	0	0	28	11	4	13	0	0	23	8	1	14	0	0	20	6	1	13	0	0	▲ 3
基盤教育群 (特任教員)	2	1	0	1	0	0	2	1	0	1	0	0	3	2	0	0	1	0	2	1	0	1	0	0	▲ 1
合計	185	121	31	33	0	0	231	144	53	34	0	0	124	58	32	33	1	0	223	108	50	54	11	0	99

(過年度の状況)	H29						H30					
	計	教授	准教授	講師	助教	助手	計	教授	准教授	講師	助教	助手
看護学群 (学部)	13	11	2	0	0	0	11	9	1	1	0	0
看護学科							4	3	0	1	0	0
看護学類							7	6	1	(1)	0	0
事業構想学群 (学部)	62	27	29	6	0	0	49	23	23	3	0	0
事業計画学科	30	9	18	3	0	0	29	11	16	2	0	0
デザイン情報学科	32	18	11	3	0	0	19	11	7	1	0	0
事業プランニング学類							0	0	0	0	0	0
地域創生学類							0	0	0	0	0	0
価値創造デザイン学類							1	1	0	0	0	0
食産業学群 (学部)							17	15	2	0	0	0
ファームビジネス学科	4	4	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0
フードビジネス学科	5	5	0	0	0	0	6	5	1	0	0	0
環境システム学科	8	6	2	0	0	0	5	3	2	0	0	0
食資源開発学類							0	0	0	0	0	0
フードマネジメント学類							0	0	0	0	0	0
国際交流・留学生センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域連携センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤教育群/共通教育センター	14	2	3	9	0	0	13	5	0	8	0	0
合計	106	55	36	15	0	0	87	48	27	12	0	0

③専任教員の担当科目比率

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
専任教員の担当科目比率 (学士課程開設科目中・学部科目)	83.0%	85.4%	87.5%	90.9%	-	-	2017年の学部改組により学群・学類制に移行しており、2020年に完成年度を迎え、学部として開講する科目が無くなったため
専任教員の担当科目比率 (学士課程開設科目中・学群科目)	-	84.7%	92.8%	92.9%	90.8%	91.3%	科目数 基盤：58/67 看護：83/87 事業：124/144 食産：103/105

④教員採用時の公募制実施率

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
教員採用時の公募制実施率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	R3は人事案件27件中27件公募

⑤教員選考時のプレゼンテーション実施率

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
教員採用時のプレゼンテーション実施率	73.3%	50.0%	66.7%	83.3%	75.0%	61.5%	R3は13件中8件で実施 (実習担当の助教，助手はプレゼンを行わない。)
助教・助手除く	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

⑥教員比率

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
看護学群（学部） 看護学専門の 男性教員率	22.4%	20.4%	22.9%	21.6%	21.7%	25.5%	47人中12人（R4.5.1現在）
事業構想学群（学部） 女性教員率	6.3%	6.3%	3.2%	2.9%	0.0%	2.8%	35人中1人（R4.5.1現在）
食産業学群（学部） 女性教員率	13.6%	13.6%	14.0%	14.6%	16.2%	23.6%	38人中9人（R4.5.1現在）

⑦授業評価の科目実施率

		2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
大学計		90.7%	86.4%	73.8%	73.1%	87.9%	90.0%	
	学部	90.7%	84.1%	60.4%	27.1%	-	-	2017年の学部改組により学群・学類制に移行しており、2020年に完成年度を迎え、学部として開講する科目が無くなったため
	学群	-	98.6%	96.7%	88.9%	87.9%	90.0%	科目数 基盤58/62, 看護75/89, 事業構想128/144, 食産業 101/107
	大学院	-	-	-	-	-	-	

※授業評価の科目実施率とは、全開講科目のうち授業評価アンケートを実施した科目の占める割合を表す。

⑧対象科目に係る授業評価の実施率

		2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
大学計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	学部	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	2017年に学部改組により学群・学類制に移行しており、2020年に完成年度を迎え、学部として開講する科目が無くなったため
	学群	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	科目数 基盤58/58, 看護75/75, 事業構想128/128, 食産業 101/101

※対象科目とは、履修者（実際に授業に出席している者）が5名未満の科目または実習形式の科目等、授業評価の実施が不適当な科目を除いて、授業評価アンケートの実施対象となる科目を表す。

※対象科目に係る授業評価の実施率とは、上記の定義による対象科目のうち授業評価アンケートを実施した科目の占める割合を表す。

⑨学生の授業評価の回答率

		2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
大学計		27.3%	46.3%	31.7%	94.8%	95.7%	97.5%	
	学群（学部）	27.3%	46.3%	31.7%	94.8%	95.7%	97.5%	回答数 30,026/30,807

※学生の授業評価の回答率は、授業評価アンケートを実施した科目の総履修者数（延べ人数）のうち、授業評価アンケートに回答した人数（科目ごとの回答者の延べ人数）の占める割合を表す。

※H28以降は紙媒体からウェブ上での授業評価アンケート実施に移行。

⑩教員のFD参加率

		2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
教員のFD参加率		95.5%	96.4%	97.7%	97.8%	83.5%	94.2%	参加数 129/137

(4) 学生支援の状況

イ 学修・生活支援

①学生の休学率・退学率

		2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
休学率	大学計	2.7%	2.5%	2.2%	2.5%	2.5%	1.8%	33/1793人
	学部	2.2%	2.1%	1.9%	2.3%	1.7%	1.7%	28/1680人
	大学院	9.7%	8.0%	6.2%	6.2%	14.2%	4.4%	5人/113人
退学率	大学計	1.3%	1.2%	1.3%	1.0%	0.6%	1.6%	29/1793人
	学部	1.3%	0.8%	1.1%	0.7%	0.5%	1.3%	21/1680人
	大学院	2.7%	8.0%	5.3%	5.3%	1.7%	7.1%	8人/113人

※休学率=休学者数÷収容定員×100 小数点以下第2位を四捨五入

※退学率=退学者数÷収容定員×100 小数点以下第2位を四捨五入

②生活支援

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
学生相談室への相談件数 (件)	1,420	1,148	1,138	1,630	1,230	2,311	

※相談件数は、延べ件数

③経済的支援 (奨学金受入)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
対象件数 (件)	871	844	835	862	1,091	1,079	
支給対象学生数 (人)	871	844	835	862	1,091	1,079	
支給総額 (千円)	-	-	-	-	-	-	

※日本学生支援機構の奨学金対象者のみ記載。

④経済的支援（授業料減免）

修学支援新制度 支援区分	補填の有無	本学独自制度	備考		2016	2017	2018	2019	2020	2021			
第Ⅰ区分				人数(人)					221	266			
				金額(千円)					59,206	71,262			
第Ⅱ区分	補填なし			人数(人)					88	89			
				金額(千円)					15,717	15,896			
	補填あり	経済減免			人数(人)					11	7		
					金額(千円)					2,947	1,876		
					うち修学支援					1,965	1,251		
				うち本学独自					982	625			
		震災減免			人数(人)					5	5		
					金額(千円)					1,340	1,340		
			うち修学支援					893	893				
					うち本学独自					447	447		
第Ⅲ区分	補填なし			人数(人)					55	65			
				金額(千円)					4,912	5,805			
	補填あり	経済減免	全額減免			人数(人)					2	1	
						金額(千円)					536	268	
						うち修学支援					179	89	
					うち本学独自					357	179		
			半額減免			人数(人)					14	8	
						金額(千円)					1,876	1,072	
				うち修学支援					1,251	715			
						うち本学独自					625	357	
		震災減免	全額減免			人数(人)					7	5	
						金額(千円)					1,876	1,340	
						うち修学支援					625	447	
					うち本学独自					1,251	893		
	半額減免				人数(人)					2	2		
					金額(千円)					268	268		
				うち修学支援					179	179			
					うち本学独自					89	89		
	不採用・支援停止	補填あり	経済減免	全額減免			人数(人)					0	0
							金額(千円)					0	0
					半額減免					2	1		
			金額(千円)					268	134				
震災減免			全額減免			人数(人)					3	0	
						金額(千円)					804	0	
		半額減免			人数(人)					5	1		
					金額(千円)					670	134		
家計急変者		補填なし			人数(人)					3	4		
					金額(千円)					670	834		
途中休学	補填なし			人数(人)					0	1			
				金額(千円)					0	134			
	補填あり	経済減免	全額減免			人数(人)					0	1	
						金額(千円)					0	268	
				うち修学支援					0	89			
				うち本学独自					0	179			
申請なし	経済減免	全額減免			人数(人)	40	25	40	30	6	5		
					金額(千円)	10,716	6,698	10,716	8,037	1,608	1,340		
					半額減免					143	170		
				金額(千円)	19,155	22,772	19,288	21,164	5,626	4,153			
		震災減免	全額減免			人数(人)	139	160	166	169	146	122	
						金額(千円)	36,666	42,685	44,471	45,275	39,114	32,684	
	半額減免				人数(人)	152	162	145	131	129	109		
					金額(千円)	20,226	21,566	19,221	17,446	17,280	14,601		
	緊急減免	前期充当あり			人数(人)					11			
					金額(千円)					1,474			
		前期充当なし			人数(人)					2			
					金額(千円)					134			

【補足】

- ・人数、金額ともに前期後期の合計
- ・2020年度から修学支援新制度が施行された。本学独自の減免制度（経済減免、震災減免）と併せて申請が可能であり、最終的な減免額はいずれか大きい減免額の値となる（修学支援新制度による減免額に補填する形）
（例：修学支援新制度にて2/3減免、震災減免にて全額減免の場合、最終的な減免額は全額減免となる。この場合、修学支援新制度にて2/3減免し、残り1/3を震災減免にて補填する）
- ・緊急減免は令和2年度のみ実施された制度

ロ キャリア形成支援

①卒業生就職率（学群）（100%/年）【指標】

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
学群（部）計	99.3%	100.0%	100.0%	99.7%	98.0%	97.9%	
看護学群（部）	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
事業構想学群（部）	98.9%	100.0%	100.0%	99.4%	95.9%	96.2%	
事業プランニング学類					100.0%	100.0%	
地域創生学類					100.0%	96.4%	
価値創造デザイン学類					89.6%	93.0%	
食産業学群（部）	99.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.1%	
食資源開発学類					100.0%	100.0%	
フードマネジメント学類					100.0%	98.3%	

※就職率＝就職者数÷就職希望者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

②卒業生に対する就職者の割合（学群）

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
学群（部）計	91.9%	92.7%	95.3%	89.8%	90.5%	86.2%	
看護学群（部）	94.1%	93.5%	98.9%	91.0%	92.0%	90.1%	
事業構想学群（部）	90.8%	93.4%	94.2%	89.1%	92.2%	86.1%	
事業プランニング学類					96.8%	90.9%	
地域創生学類					96.7%	86.9%	
価値創造デザイン学類					85.2%	81.5%	
食産業学群（部）	91.9%	91.0%	95.4%	90.1%	86.6%	83.5%	
食資源開発学類					84.2%	78.7%	
フードマネジメント学類					88.7%	87.9%	

※卒業生（進学者・家業従事・家事手伝い等就職を希望しない卒業生を含む）に対する就職者の割合＝就職者数÷卒業生数×100 小数点以下第2位を四捨五入

③卒業生に対する進学者の割合（学群）

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
学群（部）計	5.2%	4.5%	2.1%	5.5%	6.4%	6.8%	
看護学群（部）	3.0%	4.3%	1.1%	7.0%	8.0%	7.7%	
事業構想学群（部）	5.8%	3.5%	2.4%	3.0%	2.9%	3.8%	
事業計画学科	1.0%	1.9%	0.0%	1.9%			
デザイン情報学科	10.6%	5.3%	4.9%	4.3%			
事業プランニング学類					1.6%	1.5%	
地域創生学類					1.6%	1.6%	
価値創造デザイン学類					4.9%	7.4%	
食産業学群（部）	5.9%	6.0%	3.8%	8.4%	10.9%	11.0%	
ファームビジネス学科	6.5%	6.7%	8.5%	13.6%			
フードビジネス学科	6.9%	5.8%	1.9%	2.0%			
環境システム学科	3.2%	5.4%	0.0%	10.8%			
食資源開発学類					14.0%	16.4%	
フードマネジメント学類					8.0%	6.1%	

※卒業生に対する進学者の割合＝大学院等進学者数÷卒業生数×100 小数点以下第2位を四捨五入

④県内就職者比率（学群）

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
学群（部）計	47.7%	50.6%	55.1%	45.8%	47.0%	50.7%	
看護学群（部）	66.3%	65.1%	65.6%	70.3%	59.8%	69.5%	
事業構想学群（部）	47.3%	55.1%	56.7%	51.1%	51.6%	49.4%	
事業計画学科	50.0%	57.6%	58.7%	48.4%			
デザイン情報学科	44.4%	55.8%	54.4%	54.1%			
事業プランニング学類					48.3%	46.7%	
地域創生学類					52.5%	60.4%	
価値創造デザイン学類					53.6%	43.1%	
食産業学群（部）	33.9%	33.6%	45.2%	18.6%	27.2%	38.7%	
ファームビジネス学科	23.8%	30.8%	46.5%	11.1%			
フードビジネス学科	34.0%	29.2%	36.0%	18.4%			
環境システム学科	48.3%	42.9%	58.1%	27.3%			
食資源開発学類					20.8%	41.7%	
フードマネジメント学類					32.7%	36.2%	

※県内就職者比率＝県内就職者数÷就職者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

⑤国家資格試験合格率（看護師・保健師）（100%/年）【指標】

年度		2016	2017	2018	2019	2020	2021	備考
看護師	宮城大学	96.9%	98.9%	98.9%	98.9%	100.0%	98.9%	
	全国平均	94.3%	96.3%	94.7%	94.7%	95.4%	96.5%	
保健師	宮城大学	98.4%	92.9%	97.5%	100.0%	100.0%	92.7%	
	全国平均	94.5%	85.6%	88.1%	96.3%	97.4%	93.0%	

※全国平均は厚生労働省発表新卒者値を記載。

⑥各種免許資格取得者数（養護教諭（一種））

（単位：人）

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備考
養護教諭（一種）	19	7	26	20	12	12	

⑦就職支援

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備考
大学主催の合同企業等説明会の開催数（件）	3	3	3	3	2	2	
インターンシップ参加率（事業構想学群）	18.70%	27.7%	20.9%	31.0%	9.4%	20.8%	※単位取得者数 事業構想学群3年生211人のうち、インターンシップⅡ44人

⑧就職率（大学院）

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
大学院計	100.0%	100.0%	88.2%	100.0%	75.0%	71.4%	
看護学研究科	-	-	100.0%	-	-	100.0%	
博士課程前期	-	-	100.0%	-	-	100.0%	
博士課程後期	-	-	-	-	-	-	
事業構想学研究科	100.0%	100.0%	71.4%	100.0%	33.3%	50.0%	
博士課程前期	100.0%	100.0%	71.4%	100.0%	0.0%	50.0%	
博士課程後期	-	-	-	-	100.0%	-	
食産業学研究科	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
博士課程前期	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
博士課程後期	100.0%	-	-	-	-	-	

※就職率＝就職者数÷就職希望者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

⑨修了者に対する就職者の割合（大学院）

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
大学院計	23.4%	100.0%	41.2%	25.0%	26.1%	27.0%	
看護学研究科	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	5.9%	
博士課程前期	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	7.1%	
博士課程後期	0.0%	-	-	0.0%	0.0%	0.0%	
事業構想学研究科	31.3%	31.3%	31.3%	30.0%	11.1%	36.4%	
博士課程前期	31.3%	38.5%	38.5%	33.3%	0.0%	40.0%	
博士課程後期	-	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
食産業学研究科	50.0%	100.0%	100.0%	66.7%	71.4%	55.6%	
博士課程前期	55.6%	100.0%	100.0%	66.7%	71.4%	71.4%	
博士課程後期	33.3%	-	-	-	-	0.0%	

※修了者（進学者・家業従事・家事手伝い等就職を希望しない修了者を含む）に対する就職者の割合＝就職者数÷修了者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

⑩県内就職者比率（大学院）

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
大学院計	27.3%	20.0%	40.0%	28.6%	16.7%	40.0%	
看護学研究科	-	-	100.0%	-	-	100.0%	
博士課程前期	-	-	100.0%	-	-	100.0%	
博士課程後期	-	-	-	-	-	-	
事業構想学研究科	40.0%	40.0%	40.0%	66.7%	0.0%	50.0%	
博士課程前期	40.0%	40.0%	40.0%	66.7%	-	50.0%	
博士課程後期	-	-	-	-	0.0%	-	
食産業学研究科	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	20.0%	20.0%	
博士課程前期	20.0%	0.0%	33.3%	0.0%	20.0%	20.0%	
博士課程後期	0.0%	-	-	-	-	-	

※県内就職者比率＝県内就職者数÷就職者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

2 研究

(1) 研究水準（研究成果）の状況及び教員一人あたりの研究成果発表件数（2件/年 令和8年度）【指標】 (単位：件)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
国際ジャーナル論文掲載数							
看護学群（学部）	3	7	7	6	10	14	
事業構想学群（学部）	5	5	10	1	5	5	
食産業学群（学部）	33	21	17	12	39	44	
基盤教育群	-	0	1	0	1	1	
研究推共創センター	-	-	-	-	-	1	
論文誌（全国）論文掲載数							
看護学群（学部）	14	15	22	24	36	23	
事業構想学群（学部）	15	18	17	26	11	28	
食産業学群（学部）	30	30	25	29	33	31	
基盤教育群	-	2	1	1	2	2	
研究推共創センター	-	-	-	-	-	0	
学術専門図書刊行数							
看護学群（学部）	10	12	17	7	5	16	
事業構想学群（学部）	9	9	5	6	8	9	
食産業学群（学部）	11	20	6	7	3	10	
基盤教育群	-	2	3	3	1	0	
研究推共創センター	-	-	-	-	-	0	
機関リポジトリへの論文登録数							
看護学群（学部）						27	
事業構想学群（学部）						15	
食産業学群（学部）						7	
基盤教育群						0	
研究推共創センター						0	

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
プレスリリース件数							
看護学群（学部）						10	
事業構想学群（学部）						25	
食産業学群（学部）						4	
基盤教育群						0	
研究推共創センター						1	
制作作品発表数							
看護学群（学部）						0	
事業構想学群（学部）						10	
食産業学群（学部）						0	
基盤教育群						0	
研究推共創センター						0	
取得特許数							
事業構想学群（学部）	0	0	0	0	0	0	
食産業学群（学部）	1	0	3	0	1	0	
合計						283	
教員一人あたりの研究成果発表件数						2.1	

※教員一人あたりの研究成果発表件数は、当該年度の「研究成果件数」を「教員数」で除した値

(2) 外部研究資金の受入状況【指標】

(単位：件，円)

		2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
受託研究	件 数	16	14	18	21	20	19	
	うち宮城県及び隣県東北地域	6	3	5	4	7	4	
	金 額	34,068,994	34,470,988	73,742,140	65,238,000	59,256,600	49,940,138	
	教員1人当たり金額	245,101	251,613	522,994	498,000	452,340	361,885	
共同研究	件 数	7	15	12	17	18	22	
	うち宮城県及び隣県東北地域	3	6	4	5	4	9	
	金 額	4,800,000	6,040,800	12,038,000	12,426,500	12,707,298	17,448,778	
	教員1人当たり金額	34,532	44,093	85,376	94,858	97,002	126,440	
補助金	件 数	2	2	2	3	4	3	
	うち宮城県及び隣県東北地域	0	0	0	0	0	0	
	金 額	20,978,000	1,900,000	2,290,000	21,954,000	16,386,000	13,017,000	
	教員1人当たり金額	150,921	13,869	16,241	167,588	125,084	94,326	
奨学寄附金	件 数	16	16	12	15	13	20	
	うち宮城県及び隣県東北地域	3	2	1	0	1	1	
	金 額	18,872,000	17,785,000	12,465,000	15,785,000	12,222,500	24,030,650	
	教員1人当たり金額	135,770	129,818	88,404	120,496	93,302	174,135	
科学研究費補助金	件 数	82	72	72	89	86	111	
	金 額	83,141,005	62,309,357	68,685,865	91,664,291	57,868,095	71,261,483	
	教員1人当たり金額	598,137	454,813	487,134	699,727	441,741	516,388	
その他助成金	件 数	4	1	1	0	0	0	
	うち宮城県及び隣県東北地域	0	0	1	0	0	0	
	金 額	1,390,000	210,000	200,000	0	0	0	
	教員1人当たり金額	10,000	1,533	1,418	0	0	0	
合計	件 数	127	120	117	145	141	175	
	うち宮城県及び隣県東北地域	12	11	11	9	12	14	
	金 額	163,249,999	122,716,145	169,421,005	207,067,791	158,440,493	175,698,049	
	教員1人当たり金額	1,174,460	895,738	1,201,567	1,580,670	1,209,469	1,273,174	

(3) 科学研究費補助金の応募・採択状況

(単位：件，%)

申請年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
新規採択応募件数	72	90	84	69	69	74	
新規応募者率（講師以上の教員）	62.9%	70.4%	66.7%	57.5%	50.5%	52.7%	
新規採択件数	8	18	17	9	14	9	
新規採択者率（講師以上の教員）	8.3%	15.6%	14.3%	8.9%	20.0%	13.8%	

※令和3年度新規採択件数・採択率は令和4年4月1日時点。令和4年7月以降に審査結果が通知される。

(4) 外部教育資金の受入状況

(単位：件，円)

		2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
受託事業	件 数	3	3	3	1	1	1	
	金 額	83,912,564	65,554,908	6,117,458	4,905,600	4,173,143	3,827,004	
補助金	件 数	3	4	4	4	3	2	
	金 額	23,700,286	11,189,035	45,865,217	44,072,468	47,513,557	7,425,700	
合計	件 数	6	7	7	5	4	3	
	金 額	107,612,850	76,743,943	51,982,675	48,978,368	51,686,700	11,252,704	

(5) 奨学寄附金等の受入状況

(単位：円)

		2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
ネクストリーダーズ基金	金 額	-	-	-	5,731,000	3,875,519	3,378,490	

(6) 外部資金獲得総額 ((2), (4), (5)の合計)

(単位：円)

		2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
合計	金 額	199,460,088	221,403,680	221,403,680	272,217,159	214,002,712	190,329,243	
	教員1人当たり金額	1,434,965	1,592,832	1,570,239	2,077,996	1,633,608	1,379,197	

3 教育研究等環境の整備

(1) 蔵書数

(単位：冊)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
蔵書数（学生1人当たり）	98.5	102	104.8	106.3	106.6	107.6	

(2) 図書館への入館者数（利用者数）

(単位：人)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
入館者数（利用者数）	91,637	89,068	90,182	89,631	10,988	30,952	

(3) 図書の館外貸出冊数

(単位：冊)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
館外貸出冊数	19,246	17,897	14,915	13,997	5,262	10,267	

※視聴覚資料については含めず。

第2 地域貢献等に関する数値

1 地域貢献

(1) 公開講座等の開催【指標】

年度		2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
延べ開催数計（企画）		49	52	53	54	25	38	
公開講座	テーマ件数（件）	31	33	34	30	12	22	(2021) オンライン7件、看護1件、事業1件、食産1件、基盤1件、看護人材5件、大崎市6件
	開催箇所（箇所）	48	49	51	53	21	34	(2021) 主催14回、看護人材14回、連携自治体6回
	延べ開催数（企画）	48	49	51	53	21	34	
	延べ受講者数（人）	1,294	1,602	1,456	1,406	1,968	7,451	(2021) 対面853人、オンライン視聴回数6,598回
シンポジウム等	テーマ件数（件）	1	3	2	1	3	4	(2021) 県議会1件、食の絆1件、フォーラム1件、セミナー1件
	開催箇所（箇所）	1	3	2	1	4	4	
	延べ開催数（企画）	1	3	2	1	4	4	
	延べ受講者数（人）	76	146	86	29	121	336	

(2) 単位互換授業の状況

年度		2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
単位互換授業	派遣人数（人）	39	30	11	34	6	23	
	提供科目数（科目）	145	143	197	270	196	206	看護48科目、事業93科目、食産65科目

(3) 連携協定等

(単位：件)

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
試験研究機関との連携協定数 (食産業学研究科)	0	0	0	0	0	0	
市町村との連携協定数	14	14	14	14	14	14	大崎市, 気仙沼市, 白石市, 南三陸町, 仙台市(泉区), 加美町, 美里町, 兵庫県神戸市, 福島県下郷町, 大和町, 利府町, 角田市, 富谷市, 蔵王町
公的機関等との連携協定数	12	13	13	14	14	17	宮城県, 兵庫県立大学, 兵庫県立淡路景観園芸学校, 国営みちのく杜の湖畔講演事務所, (株)ホットランド, 宮城蔵王観光(株), 宮城県教育委員会, 泉パークタウン町内会・自治会連絡協議会, 日本政策金融公庫仙台支店, 仙台商工会議所, 七十七銀行, 東北医科大学, 宮城県食品産業協議会, 宮城県議会, 宮城交通(株), 国立研究開発法人水産研究・教育機構, 三菱地所(株)

(4) 市町村等の各種委員・講師の派遣件数(300件/年)【指標】

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
派遣件数						414	

※当該年度の「兼業許可(知識提供)」の件数

(5) 市町村や企業等との連携事業・受託事業数(17事業/年 令和8年度)【指標】

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
合計	7	5	11	13	8	20	
市町村	6	5	5	5	2	7	(2021年)市町村名:大崎市, 大和町, 柴田町, 仙台市(泉区2件), 仙台市消防局, 仙台市婦人防火クラブ連絡協議会
企業等	1	0	6	8	6	13	(2021年)企業名:(公財)河川財団, 閉上赤貝組合, KCみやぎ(3件), (株)フォレスト, (株)みらいファームやまと, (株)いぶきエステートほか, 上山製紙(株)ほか, 宮城交通(株)

2 国際交流

(1) 協定締結数

(単位：校)

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
大学間国際交流協定締結数	10	10	10	11	13	13	

(2) 外国人留学生数

(単位：人)

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考	
外国人留学生数	32	30	33	30	29	22		
国 別 内 訳	中国	16	17	18	21	20	13	
	韓国	1	1	2	1	1	2	
	ベトナム	4	4	4	4	4	4	
	モンゴル	3	2	2	1	1	1	
	ルワンダ	1	1	1				
	台湾	1	1	1	1	1	1	
	マレーシア	1	1	2	2	1		
	タンザニア	1						
	コンゴ民主共和国	1						
	ブルキナファソ	1	1	1				
	セネガル	2	2	2				
インドネシア					1	1		

(3) 海外派遣学生枠 (200人/年 令和8年度) 【指標】

(単位：人)

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
累計値						52 (13)	
年度計						52 (13)	
国際センタープログラム (長期：3か月以上)						8 (0)	
国際センタープログラム (短期：3か月以下)						39 (7)	※オンラインプログラム含む
学群・研究科プログラム						5 (6)	※オンラインプログラム含む

※各項目下段のカッコ書きは参加者数

第3 業務運営の改善及び効率化に関する数値

1 人事の適性化

(1) 職員（教員を除く）及び非常勤職員等の状況（各年度5月1日現在）

(単位：件)

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	備 考
正職員（a）	62	64	62	62	62	62	
県からの派遣職員	13	11	10	10	9	11	
法人の採用職員（b）	49	53	52	52	53	51	
正職員に占める法人採用職員の割合（b/a）	79.0%	82.8%	83.9%	83.9%	85.5%	82.3%	
有期雇用職員等（c）	55	54	53	54	40	40	
第一種有期雇用職員	30	22	21	22	18	17	業務限定職員2人含む
第二種有期雇用職員	25	32	32	32	22	23	業務限定職員1人含む
合 計（a + c）	117	118	115	116	102	102	

第4 その他業務運営に関する数値

1 安全管理

(1) 個人情報漏洩事故件数 (0件/年) [指標]

(単位: 件)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備 考
個人情報漏洩事故件数						0	

第5 県の規則で定める常務運営に関する数値

1 施設整備に関する計画

(1) 土地

(単位：㎡, 円)

区 分	所 在 地	前年度末 現在高	当該年度中増減高		決算年度末 現在高	価 格	備 考
			増	減			
大和キャンパス	黒川郡大和町学苑	200,884.00	0.00	0.00	200,884.00	2,556,313,800	
教員宿舎	仙台市泉区高森	7,448.62	0.00	0.00	7,448.62	455,855,544	
太白キャンパス	仙台市太白区旗立	164,585.00	0.00	0.00	164,585.00	1,394,034,950	
坪沼農場	仙台市太白区坪沼	326,885.66	0.00	0.00	326,885.66	224,461,357	
計		699,803.28	0.00	0.00	699,803.28	4,630,665,651	

(2) 建物

(単位：㎡(延床面積), 円)

区 分	所 在 地	前年度末 現在高	当該年度中増減高		決算年度末 現在高	価 格	備 考
			増	減			
大和キャンパス	黒川郡大和町学苑	40,748.58	0.00	0.00	42,480.61	4,589,992,494	令和3年度減価償却費 223,159,069 円
教員宿舎	仙台市泉区高森	3,303.46	0.00	0.00	3,303.46	240,165,250	令和3年度減価償却費 11,482,242 円
太白キャンパス	仙台市太白区旗立	23,102.11	0.00	0.00	23,102.11	794,651,563	令和3年度減価償却費 43,021,973 円
坪沼農場	仙台市太白区坪沼	2,853.10	0.00	0.00	2,853.10	15,134,577	令和3年度減価償却費 2,390,664 円
計		70,007.25	0.00	0.00	71,739.28	5,639,943,884	

【当該年度中増減があった内容】

(単位：㎡(延床面積))

所 在 地	名 称	構 造	前年度末 現在高	当該年度中 増減高	決算年度末 現在高	増 減 理 由
黒川郡大和町学苑	大和キャンパス給排水ポンプ更新工事		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (24,897,900円)
黒川郡大和町学苑	大和キャンパス交流棟直流電源更新工事		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (8,331,787円)
黒川郡大和町学苑	大和キャンパス自動火災報知設備更新工事		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (43,440,000円)
黒川郡大和町学苑	大和キャンパス本部棟空調機更新工事		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (7,178,100円)
仙台市泉区高森	教員宿舎給水ポンプ更新		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (1,068,100円)
仙台市太白区旗立	セキュリティシステム一部更新工事		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (9,113,500円)
仙台市太白区旗立	メモリアルホール音響設備更新工事		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (3,009,297円)
仙台市太白区旗立	温室B棟制御盤		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (770,825円)
仙台市太白区旗立	講義棟音響設備更新工事		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (2,773,198円)
仙台市太白区旗立	講義棟空調設備改修工事		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (54,430,520円)
仙台市太白区旗立	材料実験棟空調設備改修工事		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (911,280円)
仙台市太白区旗立	水産実験棟付属水槽格納施設		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (2,986,500円)
仙台市太白区旗立	多目的室音響設備更新工事		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (737,505円)

Ⅱ 法人が策定した指針・計画等

令和3年度中に施行された規則、規程、指針等一覧

No.	規則、規程、指針等の名称	理事会		施行日等		備考
		回	開催日	施行日	適用日	
1	令和3年度科目担当教員の配置並びに令和3年度非常勤講師人件費及び任用方針	164	令和2年8月26日	—	—	策定
2	令和3年度公立大学法人宮城大学年度計画策定の基本方針	167	令和2年11月25日	—	—	策定
3	令和3年度予算編成の基本方針	167	令和2年11月25日	—	—	策定
4	公立大学法人宮城大学 第3期中期計画（最終案）	169	令和3年1月19日	—	—	策定
5	全学学士課程 ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー	171	令和3年2月24日	令和3年4月1日	—	制定
6	各学群 ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシー	171	令和3年2月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
7	宮城大学学則	171 178	令和3年2月24日 令和3年9月29日	令和4年4月1日 一部令和3年4月1日 令和3年10月1日	—	一部改正
8	宮城大学履修規程	171	令和3年2月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
9	宮城大学大学院学則	171	令和3年2月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
10	宮城大学大学院看護学研究科履修規程	171	令和3年2月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
11	宮城大学大学院事業構想学研究科履修規程	171	令和3年2月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
12	宮城大学大学院食産業学研究科履修規程	171	令和3年2月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
13	令和3年度当初予算原案	171	令和3年2月24日	—	—	策定
14	令和3年度当初予算	172	令和3年3月24日	—	—	策定
15	令和3年度公立大学法人宮城大学年度計画	172	令和3年3月24日	—	—	策定
16	令和3年度特任教員任用計画	172	令和3年3月24日	—	—	一部変更
17	公立大学法人宮城大学就業規則	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
18	公立大学法人宮城大学債権管理規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
19	公立大学法人宮城大学契約事務取扱規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
20	公立大学法人宮城大学施設等管理使用規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
21	公立大学法人宮城大学発明等取扱規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
22	公立大学法人宮城大学研究成果有体物取扱規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
23	公立大学法人宮城大学奨学寄付取扱規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
24	公立大学法人宮城大学会計規程実施規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
25	令和3年度における宮城大学授業料の減免等の特例に関する規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	制定
26	宮城大学授業料の納付期日の特例に関する規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
27	公立大学法人宮城大学情報システム及び情報資産の利用等並びに情報セキュリティ対策に関する規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	制定
28	公立大学法人宮城大学情報システムセンター運営規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
29	宮城大学カリキュラムセンター運営規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
30	公立大学法人宮城大学基本規則	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
31	公立大学法人宮城大学 事務組織規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正

No.	規則, 規程, 指針等の名称	理事会		施行日等		備考
		回	開催日	施行日	適用日	
32	公立大学法人宮城大学 学術情報センター運営規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
33	公立大学法人宮城大学 国際交流・留学生センター運営規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
34	公立大学法人宮城大学 地域連携センター運営規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
35	公立大学法人宮城大学 人権侵害の防止等に関する規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
36	公立大学法人宮城大学 危機管理規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
37	公立大学法人宮城大学 事務決裁規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
38	公立大学法人宮城大学 事務細則	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
39	公立大学法人宮城大学 公印規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
40	公立大学法人宮城大学 文書規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
41	宮城大学地域連携センター地域振興事業部研修派遣職員の学生納付金の免除に関する規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
42	公立大学法人宮城大学業務アシスタント取扱規程	172 178	令和3年3月24日 令和3年9月29日	令和3年4月1日 令和3年10月1日	—	一部改正
43	公立大学法人宮城大学 研究倫理審査規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
44	公立大学法人宮城大学 利益相反管理規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
45	公立大学法人宮城大学 薬品等管理規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
46	公立大学法人宮城大学における研究倫理の保持並びに研究活動上の不正行為及び研究費の不正使用の防止等に関する規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
47	公立大学法人宮城大学職員のサービスの宣誓に関する規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
48	宮城大学教員人事規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
49	教員人事の進め方について	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
50	公立大学法人宮城大学 貸金規程	172 180 181	令和3年3月24日 令和3年11月24日 令和3年12月22日	令和3年4月1日 令和3年12月1日 令和3年12月22日	— — 令和3年4月1日	一部改正
51	事務局職員昇給取扱要綱	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
52	公立大学法人宮城大学 名誉教授称号授与規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
53	公立大学法人宮城大学 地域連携センター地域振興事業部研修派遣職員の受入に関する規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
54	公立大学法人宮城大学地域連携センター地域振興事業部調査研究員等の賃金の特例等に関する規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
55	事務局職員評価要綱	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
56	事務局職員自己啓発支援要綱	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
57	公立大学法人宮城大学クロスアポイントメント制度に関する規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
58	公立大学法人宮城大学 財務運営要綱	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
59	公立大学法人宮城大学 乗合自動車管理運用規程	172	令和3年3月24日	令和3年4月1日	—	一部改正
60	公立大学法人宮城大学 研究委員会運営規程	173	令和3年4月28日	令和3年4月28日	令和3年4月1日	一部改正
61	公立大学法人宮城大学 旅費規程	173	令和3年4月28日	令和3年4月28日	令和3年4月1日	一部改正
62	令和2年度業務実績報告書	175	令和3年6月30日	—	—	策定

No.	規則, 規程, 指針等の名称	理事会		施行日等		備考
		回	開催日	施行日	適用日	
63	令和2年度決算報告書及び財務諸表	175	令和3年6月30日	—	—	策定
64	第2期中期目標期間業務実績報告書	175	令和3年6月30日	—	—	策定
65	公立大学法人宮城大学研究倫理審査規程	176	令和3年7月28日	令和3年8月1日	令和3年6月1日	一部改正
66	公立大学法人宮城大学役員報酬等規程	180	令和3年11月24日	令和3年12月1日	—	一部改正

※ 上表中, No.3, No.5~14, No.50, No.63 (網掛け部分) については, 規程等の「改正の概要」等を添付。

【参考】 「公立大学法人宮城大学定款」 第4章 審議機関

- 第1節 経営審議会 (第22条), 第2節 教育研究審議会 (第26条) に定める審議事項 ※関係部分のみ要約
 ■ 予算の編成, 執行, 決算に関する事項 ■ 学部, 大学院など重要な組織の設置, 改廃のうち, 教育研究に関するもの
 ■ 法人の基本的な規則 (経営に関するもの。) 及び会計規程, 役員報酬・職員給与の基準等経営に係る重要な規程の制定, 改廃
 ■ 法人の基本的な規則 (教育研究に関するもの。) 及び教育研究に係る重要な規程の制定, 改廃

令和 3 年度予算編成の基本方針（案）

令和 2 年 1 1 月 2 5 日

理事長 川 上 伸 昭

会計規程第 1 3 条及び財務運営要綱第 8 条に基づき、令和 3 年度予算編成の基本方針を策定するもの。

本学は、平成 2 9 年度から取り組んできた大学改革に基づいて「ラーニングコモンズ」の整備を進める他、教育研究環境の充実・改善を進めてきた。令和元年度からの各ラーニングコモンズの整備・運営に続き、令和 2 年 6 月には新たな研究環境であるデザイン研究棟が完成し、平成 2 9 年度に策定した「大和キャンパス等再編整備計画」は一定の完成をみたところである。

第 2 期中期計画期間の最終年度である令和 2 年度は、老朽化が進む施設の維持修繕を着実に実施しなければならない中、新型コロナウイルス感染症対策に係る経費が多額となっており、目的積立金の将来的な枯渇も懸念されるなど、本学の財政状況を取り巻く環境は一層厳しくなっている中での運営となっている。

令和 3 年度から始まる第 3 期中期計画期間の目標を達成するには、教育研究活動の一層の改善と充実に向けた不断の努力を行いつつ、財政的側面のバランスをとり、持続的かつ安定的な財政基盤も堅持していくことが不可欠であることから、以下により、令和 3 年度予算を編成する。

1 基本事項

令和 3 年度は第 3 期中期計画初年度となるが、現時点で、県から交付される運営費交付金額が確定していないこと、また、第 2 期中期計画期間における目的積立金の繰越承認が行われていないことなどを鑑み、全体的に抑制した当初予算編成を行うこととする。

なお、第 3 期中期計画期間に新たに取り組むべき事業等については、財源確保の見通しを踏まえ、優先順位付けを行った上で開始時期の調整を行っていくこととする。

2 自己財源の確保について

運営費交付金収入に依存しない財政運営を図るため、科学研究費補助金及び受託研究等の研究資金、並びに補助事業等について、戦略的な外部資金獲得により自己財源の確保に努める。

3 授業料等の取扱いについて

(1) 適正化について

第 2 期中期計画期間に掲げた授業料等の適正化については、諸般の社会・経済情勢及び他国公立大学法人等の対応状況を鑑み、第 3 期中期計画初年度である令和 3 年度も現状の取り扱いとする。

(2) 授業料・入学金減免額の算定について

令和 2 年 4 月から始まった高等教育修学支援制度については、ルールに沿って適切に減免額を算定すること。

また、高等教育修学支援制度対象外となる従来制度の対象学生（大学院生・留学生等）についても、県における支援策に応じて適切に減免額を算定すること。

4 事業要求の考え方について

(1) 既存事業

一律のシーリングを設定しないが、「4（3）個別の取扱」に関するものを除き、既存事業については、令和元年度決算（消費税10%補正を行った決算額）をベースに特殊要因を積み上げる要求とする。なお、社会的要請、必要性が希薄化していると思われる事業については休廃止を行うとともに、効率性や費用対効果を踏まえた事業の見直しを行うなど、経費の縮減も検討すること（安易に令和元年度決算額を要求することのないようにすること）。

なお、特殊要因の考え方は以下を想定する。

<特殊要因例>

- ・複数年度にまたがるシステム運営費や委託料などの更新
- ・労務費等の単価改正
- ・制度改正に伴う新たな経費の発生（例：改正著作権法施行に伴う授業目的公衆送信補償金制度の開始 等）
- ・通年実施に伴う経費増（例：コモンズ運営 等） 等

※特殊要因に疑義等がある場合は財務課財務グループに確認のこと。

(2) 新規事業及び拡充すべき事業

第3期中期計画の目標を達成するため新たに取り組むべき事業及び拡充すべき事業（以下、「新規事業等」という）については、既存事業を十分精査し、見直し等スクラップアンドビルドによる財源捻出を行った上で要求を行うこととし、必ず終期年度を設定すること（原則3年、最長5年を目処）。併せて、新規事業等を行うにあたっての業務量の負荷も十分勘案の上、無理のない事業提案を行うこと。

※新規事業等を提出する場合は事前に財務課財務グループに相談のこと。

(3) 個別の取扱

①復興人材育成プログラム

令和2年度をもって県からの補助金による財源措置がなくなり、通常の枠内での予算要求となる。学群・群共通の科目構成であることから、共通教育費として、別に定める要求基礎額を目安に要求すること。

②人件費（退職手当費用含む）

別に定める要求基礎額を目安に要求すること。

③大規模修繕費

別に定める要求基礎額を目安に要求すること。

④実験実習機器更新費（事業構想学群は「教育改善経費」）

別に定める要求基礎額を目安に要求すること。

⑤人事給与システム運営費

新たな導入となることから、新規事業として別に定める要求基礎額を目安に要求するこ

と。

(4) その他

①企画・広報費

学外に広く配布し情報発信を行うことを目的とする広報物については、「企画・広報費」に集約し、広報委員会事務局である企画・入試課企画・広報グループが予算要求や執行管理等を行うこと（取扱は今年度と同様）。

②ネクストリーダーズ基金事業

別途、「令和3年度事業要望」を作成し、財務課に提出のこと。

5 「予算要求調書」等の提出について

- ・ 各部門予算責任者は、要求の各項目に必要性及び費用対効果の説明を付し、「予算要求調書」を提出のこと。
- ・ 新規事業等については、別葉の「新規事業等予算要求調書」を提出のこと。
- ・ 提出期限はそれぞれ別となることに注意すること。

以 上

<参考> 令和3年度当初予算審議スケジュール（予定）

令和2年	1 1月上旬	基本方針（案）を各部門予算責任者へ共有
	1 1月25日（水）	理事会で令和3年度予算編成の基本方針を審議
	1 1月下旬	上記基本方針を各部門予算責任者へ通知
令和3年	1 月 1 2 日（火）	新規事業等予算要求調書の提出期限【厳守】
	1 月 1 4 日（木）	予算要求調書（新規事業等以外）の提出期限【厳守】
	1 月 2 5 日（月）～	各部門予算責任者等とのヒアリング実施
	2 月 2 4 日（水）	予算原案を理事会へ付議
	3 月初旬	部門予算責任者へ予算内示
	3 月 1 7 日（水）	予算原案に基づく予算案を教育研究審議会へ付議
	3 月 2 3 日（火）	予算原案に基づく予算案を経営審議会へ付議
	3 月 2 4 日（水）	予算案を理事会へ付議（決定）

基本方針4 (1) 関係 ①

(単位：千円)

		令和元年度決算額 (消費税補正後)	<参考> 令和2年度当初予算額	
教育 経費	看護	学群教育費	12,062	13,723
		学群実験実習費	21,509	24,956
		研究科教育費	3,562	4,107
	事業構想	学群教育費	16,123	15,606
		学群実験実習費	3,332	5,466
		研究科教育費	2,015	3,426
	食産業	学群教育費	14,148	14,743
		学群実験実習費	21,144	19,645
		農場実習運営経費	9,500	9,327
		研究科教育費	1,572	2,113
	基盤教育群経費 (復興人材育成プログラム除く)		9,592	17,212
	アドミッションセンター経費		29,496	33,076
	カリキュラムセンター経費		6,117	10,580
	スチューデントサービスセンター経費		19,467	21,293
キャリア・インターンシップセンター経費		13,710	15,055	
研究経費		78,613	86,020	
教育 研究 支援 経費	学術情報センター経費		61,092	72,146
	情報システムセンター経費		191,037	183,445
	国際交流・留学生センター経費		3,609	7,327
	地域連携センター経費			
		人件費	26,041	30,000
		人件費以外	24,999	11,768
	教員免許状更新講習事業費		812	1,200
	専門研修経費		1,485	2,250
高大連携事業費		723	992	
受託研究費 (直接経費)		55,417	70,875	
共同研究費 (直接経費)		10,644	0	
大学入学共通テスト実施経費		4,893	3,977	
奨学寄付金研究費 (直接経費)		12,993	19,950	
宮城大学ネクストリーダーズ基金事業費		1,008	3,000	

基本方針4 (1) 関係 ②

(単位：千円)

		令和元年度決算額 (消費税補正後)	<参考> 令和2年度当初予算額
一 般 管 理 費	役員等費用	1, 8 5 9	3, 1 4 1
	経営審議会経費	1 0 6	3 7 3
	弁護士, 社労士, 会計士, 税理士費用	3, 7 0 4	3, 8 9 2
	会計監査人費用	7, 2 6 1	7, 2 6 0
	評価関連費用	4, 9 6 1	4 8 5
	庁舎管理経費	2 2 9, 6 4 4	2 3 9, 2 9 2
	光熱水費	1 5 1, 9 2 4	1 6 1, 9 1 8
	公用車等経費	3, 3 4 0	4, 0 5 5
	事務局経費	1 7, 1 8 6	3 4, 4 1 2
	財務会計システム運営費	5, 2 4 3	4, 6 8 6
	給与計算アウトソーシング	2, 5 4 6	4, 2 7 9
	銀行振込手数料	1, 0 6 6	1, 1 3 4
	職員健康診査費	5 0 4	7 0 3
	職員採用経費	1, 9 0 8	2, 9 2 2
	産業医	1, 5 5 3	1, 5 5 6
	公租公課	8, 0 5 6	8, 8 3 3
	事務局職員研修経費	1, 5 6 0	1, 9 3 1
	学務管理システム運営費	2 3, 9 0 6	2 6, 1 1 5
	建物設備維持管理経費	2 6, 8 9 0	2 7, 8 5 3
企画・広報費	3 6, 3 0 5	3 9, 5 8 1	
教員宿舍費	2, 1 8 3	5, 0 1 0	

基本方針4（3）関係

(単位：千円)

		要求基礎額
復興人材育成プログラム（共通教育費）（仮）		10,000
人件費	理事長・副理事長・理事人件費	51,240
	監事人件費	827
	教員人件費	1,572,111
	非常勤教員人件費	34,070
	特任教員人件費	41,645
	事務職員人件費	433,517
	非常勤事務職員人件費	112,613
	退職手当費用	140,044
大規模修繕費		250,000
機器	実験実習機器更新費（看護）	5,024
	教育改善経費（事業構想）	1,930
	実験実習機器更新費（食産業）	33,046
人事給与システム運営費		26,180

令和3年2月24日
理事会資料

全学学士課程2ポリシーの制定及び各学群3ポリシーの一部改正について

1 改正趣旨・内容

令和4年度開始予定のカリキュラムの改編に合わせて、全学学士課程のディプロマポリシー、カリキュラムポリシー（以下2ポリシー）を制定し、各学群の3ポリシーの一部改正を行うもの。

また、従来までの基盤教育の2ポリシーの内容については、全学学士課程の2ポリシー及び各学群の2ポリシーに示し廃止する。

なお、全学学士課程のアドミッションポリシーについては従来どおりである。

2 施行年月日

令和3年4月1日施行し、令和4年度入学生より適用する。

なお、この規則の施行の日の前日において在籍する学生及び令和3年度入学生に対するポリシーは従前のとおりとする。

3 新旧対照表

別紙のとおり

令和3年2月24日
理事会資料

宮城大学学則の一部改正について

1. 改正趣旨

- (1) 令和4年度からの食産業学群での新学類設置に伴い、入学・収容定員変更の改正を行うもの。また、令和4年度のカリキュラム改編に伴い、各学群の開講科目の加除及び科目名の変更を行うため別表の改正を行うもの。
- (2) 看護学群においては、令和3年度から一部の科目を閉講するため、令和3年度入学生に適用した別表の改正を行うもの。

2. 改正内容

(1) 令和4年度入学生に適用

- ・宮城大学学則第3条第2項食産業学群の入学・収容定員の変更を行う。
- ・宮城大学学則第33条関係の別表第一、「1看護学群看護学類」から「6食産業学群フードマネジメント学類」まで、開講科目の加除及び科目名の変更を行う。
- ・宮城大学学則第33条関係の別表第一「5食産業学群食資源開発学類」については、「5食産業学群生物生産学類」に変更を行う。

(2) 令和3年度看護学群入学生に適用

宮城大学学則第33条別表第一、「1看護学群看護学類」にて科目の削除を行い、令和3年度看護学群入学生用のカリキュラムとして、別表第一（第33条、第41条関係）1看護学群看護学類（令和3年度入学生用）を新たに定める。

3. 施行年月日

令和4年4月1日 ただし、令和3年度看護学群入学生に対する授業科目、配当年次、単位数及び授業形態を規定する別表第一 1看護学群看護学類（令和3年度入学生用）は、令和3年4月1日施行

4. 改正案新旧対照表 別紙のとおり

5. 改正後全文 別紙のとおり

宮城大学履修規程の一部改正について

1. 改正趣旨及び内容

看護学群において、令和3年度から一部の科目を閉講するため、別表1の改正を行うもの。

2. 施行年月日 令和3年4月1日

3. 改正案新旧対照表 別紙のとおり

4. 改正後全文 別紙のとおり

令和 3 年 9 月 2 9 日
理 事 会 資 料

宮城大学学則の一部改正について

1. 改正趣旨

平成 2 8 年 2 月 2 4 日の改正により, 平成 2 9 年 4 月 1 日前に在籍する者が在籍しなくなる日までの間, 存続するものとした事業構想学部事業計画学科について, 在籍していた者が全て在籍しなくなったため, 学科を廃止する一部改正を行うもの。

2. 施行及び廃止年月日

令和 3 年 1 0 月 1 日施行及び廃止

(廃止の日以前に文科省への学則変更による届出が必要なことから, 9 月 2 9 日理事会決議, 1 0 月 1 日施行及び廃止とする)

3. 改正案新旧対照表 別紙のとおり

4. 改正後全文 別紙のとおり

宮城大学大学院学則及び各研究科履修規程の改正について

1. 改正趣旨

カリキュラム改編に伴い、事業構想学研究科並びに食産業学研究科博士前期課程の開講科目の加除及び科目名変更を行い、別表の改正を行うもの。

また、看護学研究科博士前期課程において、開講科目を分割し配当年次の変更を行うため、別表の改正を行うもの。その他看護学研究科博士後期課程において、科目名の変更を行う。

2. 改正内容

(1) 宮城大学大学院学則 別表（第31条、第37条、第38条関係）

- ・別表1 看護学研究科看護学専攻博士課程（前期2年の課程）において開講科目の加除及び科目名変更並びに別表2 看護学研究科看護学専攻博士課程（後期3年の課程）において科目名変更の改正を行う。

- ・別表3 事業構想学研究科事業構想学専攻博士課程（前期2年の課程）において開講科目の加除及び科目名変更の改正を行う。

- ・別表5 食産業学研究科食産業学専攻博士課程（前期2年の課程）において開講科目の加除及び科目名変更の改正を行う。

(2) 看護学研究科履修規程

- ・宮城大学看護学研究科履修規程（別表）

第2条に係る別表において、開講科目の加除及び科目名の変更を行う。

- ・宮城大学看護学研究科履修規程（様式第1号）

第4条に係る様式において、年号（和暦）の削除を行う。

(3) 事業構想学研究科履修規程

- ・宮城大学事業構想学研究科履修規程（別表）

第2条に係る別表において、開講科目の加除及び科目名の変更を行う。

- ・宮城大学事業構想学研究科履修規程（様式第1号、様式第2号）

第4条第1項及び第2項に係る様式において、年号（和暦）の削除を行う。

(4) 食産業学研究科履修規程

- ・宮城大学食産業学研究科履修規程（別表）

第2条に係る別表において、開講科目の加除及び科目名の変更を行う。

3. 施行年月日 令和3年4月1日

4. 改正案新旧対照表 別紙のとおり

5. 改正後全文 別紙の通り

令和3年度当初予算原案について

令和3年2月24日

第171回理事会決定

1 基本的考え方

- 令和3年度は第3期中期計画初年度であり、中期計画期間内に県から措置される運営費交付金をベースとした新たな資金計画に基づく予算編成及び業務運営を行っていくこととなる。
- 収入については、人件費、大規模修繕費等において運営費交付金として必要な措置が行われるものの、目的積立金取崩の財源を活用できず、自己財源の増加も見込まれないことから例年以上に厳しい予算規模となっている。
- 支出については、一般管理費等の削減を進めるものの、老朽化した施設・設備の維持修繕、陳腐化した実験実習機器の更新費用のほか、教員及び事務職員の定数増への対応、業務システムの更新・新規導入といった業務改善に資する事業への計上を予定しており、収入増が見込まれない中で厳しい予算編成となっている。
- このため、令和3年度は、既存事業の見直しによる財源の捻出とともに、外部資金の獲得による自己財源の確保にも積極的に取り組みながら、年度中の着手も見据え、カリキュラム改編に伴う新規事業や大学院改革、国際化への新たな取組について必要な検討を進めていくこととする。

2 令和3年度当初予算原案

4,017,957千円（対前年度比 ▲389,713千円（▲8.8%））

＜主な減要因＞

- ・大規模修繕費（▲364,325千円）：デザイン研究棟建設経費分皆減（▲421,989千円）
 - ・教育経費（▲47,975千円）：地域連携型実践教育経費減等
- 詳細は裏面のとおり。

＜参考＞

■予算規模の推移（当初予算ベース）

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
当初規模	3,472	3,274	3,345	3,711	4,006	3,724	3,812	3,997	3,929	4,013	4,614	4,408	4,018
うち新棟建設分											※688	※422	
増減率	-	94.3	102.2	110.9	108.0	93.0	102.4	104.9	98.3	102.1	115.0	95.5	91.2

※新棟建設分の実執行額 611百万円（R1:266百万円 R2:345百万円）

3 今後のスケジュール

- 3月上旬 各部門への内示
- 3月23日（火） 経営審議会において予算案の審議
- 3月24日（水） 理事会において予算案の審議

令和3年度当初予算 原案

<収入>

(単位:千円)

項目	R3当初予算額(案) A	R2当初予算額 B	増減額 A-B	対前年度比 (A/B)×100	備考
運営費交付金 計	2,685,832	2,498,897	186,935	107.5	
01運営費交付金(経常経費)	2,368,945	2,155,523	213,422	109.9	教員定数+2、職員定数+6、デザイン研究棟維持管理増等
02運営費交付金(大規模修繕費)	316,887	302,940	13,947	104.6	大規模修繕277百万円 高額備品(実験実習)40百万円
03運営費交付金(震災減免)	0	40,434	▲ 40,434	皆減	R2まで
授業料収入	869,123	848,207	20,916	102.5	運営費交付金(震災減免)終了による増 学生数(1,867人→1,826人)
入学金収入	151,434	149,084	2,350	101.6	大学院改革に伴う大学院生の増(30人→46人)
検定料収入	30,127	30,468	▲ 341	98.9	学群出願(1,734人→1,691人) 研究科出願(33人→46人)
受託研究等収入	75,000	78,750	▲ 3,750	95.2	中期計画目標額を計上
受託事業等収入	10,566	7,077	3,489	149.3	農林中金みらい基金受託事業通年計上による増
寄附金収入	14,000	24,000	▲ 10,000	58.3	中期計画目標額を計上
補助金収益	100,584	153,170	▲ 52,586	65.7	復興人材育成プログラム皆減
雑収入	52,273	53,450	▲ 1,177	97.8	
講習料等収入	3,018	3,452	▲ 434	87.4	
地域振興寄附金取崩	23,000	30,000	▲ 7,000	76.7	常勤3人、非常勤1人
官城大学ネオスターグース基金積立金取崩	3,000	0	3,000	皆増	
目的積立金取崩	0	419,088	▲ 419,088	皆減	県の承認がなければ取崩できない
運営費交付金債務取崩	0	112,027	▲ 112,027	皆減	中期計画最終年度に収益化し県に返還
合計	4,017,957	4,407,670	▲ 389,713	91.2	

<支出>

(単位:千円)

項目	R3当初予算額(案) A	R2当初予算額 B	増減額 A-B	対前年度比 (A/B)×100	備考
教育経費	210,623	258,598	▲ 47,975	81.5	基盤教育群教育費減 地域連携型実践教育費減 全学学務経費減
研究経費	78,536	86,020	▲ 7,484	91.3	教員研究費見直しによる減
教育研究支援経費	300,358	309,128	▲ 8,770	97.2	情報システムセンター経費減 地域連携センター経費(人件費)減
受託研究費(直接経費)	67,500	70,875	▲ 3,375	95.2	中期計画目標額を計上
受託事業費	3,766	3,977	▲ 211	94.7	大学入学共通テスト実施経費を計上
補助金事業費	5,400	11,770	▲ 6,370	45.9	大学における文化芸術推進事業皆減
寄附金事業費	16,300	22,950	▲ 6,650	71.0	中期計画目標額を計上
人件費(退職手当費用含む)	2,392,306	2,349,886	42,420	101.8	退職手当費用増
一般管理費	610,597	632,347	▲ 21,750	96.6	光熱水費減 施設・環境整備費減 財務会計システム更新(+35,310) 人事給与システム導入(+21,780)
大規模修繕費	284,675	649,000	▲ 364,325	43.9	デザイン研究棟建設経費皆減(▲421,989)
実験実習機器更新費	47,896	13,119	34,777	365.1	運営費交付金として県より認められたことによる増 (40,000/年)
合計	4,017,957	4,407,670	▲ 389,713	91.2	

令和3年度当初予算(案)について

令和3年3月24日
第172回理事会決定

(単位:百万円)

区分	令和3年度 当初予算	令和2年度 当初予算	前年度比	増減率	備考
収入					
運営費交付金	2,742	2,499	243	9.7%	経常 2,369M(+213M), 大規模修繕 317M(+14M), 震災減免 56M(+15M) 震災減免は令和3年度は継続だが, 令和4年度は未定のため, 授業料減免のみ措置
自己収入	1,050	1,085	△ 35	-3.2%	授業料 813M(△35M), 入学金 151M(+2M), 検定料収入30M(-), 雑収入52M(△1M)うち科研費間 接収入20.7M, 講習料収入3M(△0.4M)
受託研究収入	75	79	△ 4	-5.1%	中期計画の目標額計上
受託事業収入	10	7	3	42.9%	地連収入6.8M(+3.7M), 共通テスト事業収益3.8M(△0.2M)
寄附金収入	14	24	△ 10	-41.7%	奨学寄附金14M 中期計画の目標額に基づき計上
補助金事業収入	101	153	△ 52	-34.0%	授業料等減免費補助金(修学支援新制度) 95M(+2M) 実績見込額, 文科省次世代アントレプレナー育成事業補助金EDGE-NEXTプログラム2M ほか
地域振興寄附金取崩	23	30	△ 7	-23.3%	
宮城大学ネクストリーダーズ基金取崩	3	0	3		
目的積立金等取崩	0	419	△ 419	-100.0%	目的積立金は, 中期計画期間最終年度においては, 県の承認を得なければ繰越できない
運営費交付金債務取崩	0	112	△ 112	-100.0%	運営費交付金債務は, 中期計画期間最終年度において精算される
収入計	4,018	4,408	△ 390	-8.8%	
支出					
教育経費	211	259	△ 48	-18.5%	
うち 学群経費	136	169	△ 33	-19.5%	基盤: 学力調査経費等の削減等により△4.5M 地域連携型実践教育費: 前年度まで補助金のため△21.5M その他, 全体として, 旅費・謝金等の削減等により減
うち 研究科経費	9	10	△ 1	-10.0%	
うち 全学学務費	66	80	△ 14	-17.5%	AD: 入試システム契約額の影響により△2.2M CC: コモンズ運営経費の削減により△3.2M SSC: 障がい学生の卒業・コンボケーションデイ開催回数減等により△2.7M CIC: 就労状況調査費の減・後援会助成費の移管等により△6.1M
研究経費	79	86	△ 7	-8.1%	基礎的研究費(+2M), 特別研究費(△4.7M), 国際研究費(△2.5M) ほか
教育研究支援経費	300	309	△ 9	-2.9%	学術情報72M(△0.2M), 情シス181M(△2.4M), 国際交流5.3M(△2M), 地連38M(△3.4M) ほか
受託研究費	68	71	△ 3	-4.2%	収入予算における受託研究収入の直接経費相当分を事業費として計上
受託事業費	4	4	0	0.0%	大学入学共通テスト実施経費支出基準に基づく積算値で計上
補助金事業費	5	12	△ 7	-58.3%	
寄附金事業費	16	23	△ 7	-30.4%	収入予算における寄附金収入の直接経費相当分を事業費として計上
人件費	2,392	2,350	42	1.8%	教員1,572M(+0.4M) 事務職員人件費129M(△7.7M) 教員退職手当費用140M(+72M)
一般管理費	610	632	△ 22	-3.5%	感染症対策による庁舎管理費の増(+25M) 電気使用量契約更新による光熱水費の減(△37M) システム更新による財務会計システム運営費の増(+4.7M) 人事給与システムの新規導入による増(+22M) ほか
大規模修繕費	285	649	△ 364	-56.1%	通常分(運営費交付金算定対象): 277M(+50M) 新棟分(運営費交付金算定対象): 0(△422M) 発注者支援業務(運営費交付金算定対象外): 8M(+8M)
実験実習機器更新費	48	13	35	269.2%	看護: 3M(△2M) 事業: 13M(+5M) 食産: 32M(+32M)
支出計	4,018	4,408	△ 390	-8.8%	
収入-支出	0	0	0		

()内は前年比の値

令和3年度当初予算案の概要

令和3年3月24日
第172回理事会決定

1 令和3年度当初予算案

4,017,957千円（対前年度比 ▲389,713千円（▲8.8%））

（対前年度比（デザイン研究棟（新棟）分除く）+32,276千円（+1.0%））

<主な減要因>

- ・大規模修繕費（▲364,325千円）：デザイン研究棟建設経費分皆減（▲421,989千円）
※デザイン研究棟，発注者支援業務（R3新規）を除く通常分（+49,980千円）
- ・一般管理費（▲21,729千円）：光熱水費減 等
- ・教育経費（実験実習機器更新費含む）（▲13,219千円）：地域連携実践教育経費減 等

■予算規模の推移(当初予算ベース)

(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R3-R2
当初規模	3,812	3,997	3,929	4,013	4,614	4,408	4,018	▲390
うち大規模修繕費 (通常分)	201	239	146	238	211	227	277	50
うち大規模修繕費 (新棟分)	-	-	-	-	688	422	-	▲422
うち一般管理費	535	670	570	644	603	632	610	▲22
うち教育経費 (実験実習機器含む)	242	233	323	297	279	272	259	▲13
増減率	102.4%	104.9%	98.3%	102.1%	115.0%	95.5%	91.2%	-
当初規模(新棟除く)	3,812	3,997	3,929	4,013	3,926	3,986	4,018	32
増減率	102.4%	104.9%	98.3%	102.1%	97.8%	101.5%	100.8%	-

※新棟建設分の実執行額 611百万円 (R1:266百万円 R2:345百万円)

2 収入

自己収入の減少，目的積立金取崩ができないなどの減収要因がある中，運営費交付金の県措置額の増加等により例年ベースの財源は確保。

(1) 運営費交付金 2,741,556千円（+242,659千円（+9.7%））

第3期中期計画に基づく県措置額を計上。教職員定数増や施設等老朽化対策に係る経費が増加したことにより前年度を10%程度上回る分を措置。※運営費交付金比率 R2:56.7% → R3:68.2%

	R3	R2	増減額		備考
				率	
經常経費	2,368,945	2,155,523	213,422	9.9	教職員定数増、デザイン研究棟維持管理経費等増
大規模修繕費 (高額備品含む)	316,887	302,940	13,947	4.6	大規模修繕277百万円 高額備品(実験実習機器等更新)40百万円※
震災減免	55,724	40,434	15,290	37.8	R3も継続
計	2,741,556	2,498,897	242,659	9.7	

※第3期から運営費交付金(大規模修繕費)のカテゴリーの中で高額備品(実験実習機器等更新)が措置される

(2) 自己収入 1,050,251千円（▲34,410千円（▲3.2%））

入学金は大学院改革の進捗等を踏まえ増加を見込むが，授業料は減少が見込まれるため全体として減少。

	R3	R2	増減額		備考
				率	
授業料	813,399	848,207	▲34,808	▲4.1	学群生減(1,788人→1,747人) ※定員×1.04により算定
入学金	151,434	149,084	2,350	1.6	大学院改革に伴う大学院生の増 (30人→46人)
その他	85,418	87,370	▲1,952	▲2.2	生産物売払収入減
計	1,050,251	1,084,661	▲34,410	▲3.2	

(3) その他

①外部資金 200,150 千円 (▲62,847 千円 (▲23.9%))

受託研究, 寄附金収入は第3期中期計画目標額を計上, 補助金等収益は「復興人材育成事業」廃止に伴い大幅減。

	R3	R2	増減額		備考
				率	
受託研究収入	75,000	78,750	▲ 3,750	▲ 4.8	中期計画目標額を計上
受託事業等収入	10,566	7,077	3,489	49.3	地連センター受託事業収入増
寄附金収入	14,000	24,000	▲ 10,000	▲ 41.7	中期計画目標額を計上
補助金等収益	100,584	153,170	▲ 52,586	▲ 34.3	復興人材育成事業廃止による減
計	200,150	262,997	▲ 62,847	▲ 23.9	

②目的積立金取崩 0 千円 (▲419,088 千円 (皆減))

中期計画初年度においては県の承認後でなければ取崩不可のため未計上。

	R3	R2	増減額		備考
				率	
目的積立金取崩	0	419,088	▲ 419,088	▲ 100.0	目的積立金取崩は県承認後(令和3年6月頃)

※目的積立金期末残高 R1 : 608,771 千円 → R2 : 191,506 千円

(R2 は最終補正時点のもので決算利益剰余金の振替等考慮しない見込額)

3 支出

一般管理費の削減や既存事業の見直し等による財源捻出等を行うことにより, カリキュラム改編を踏まえた各部門における取組, 外部資金獲得に向けた研究水準向上や国際化への対応等, 必要とされる事業については所要額を措置。

(1) 教育の質向上, カリキュラム改編への対応

主な事業	予算額 (千円)	備考
①看護学群 (拡充) ICTを活用した教育の推進(シミュレーター等の充実・管理)	4,265	シミュレーター「SCENARIO」、オンライン医療情報サービス「ナーシングスキル」等
②事業構想学群 (新規) デザイン研究棟を拠点とした「MYU-デザインスタディセンター」の整備(継続) 次世代アントレプレナーの育成	12,696 2,000	関連実験実習機器等の整備 補助金事業「EDGE-NEXT」
③食産業学群 (新規) 先端の実験機器の更新	31,895	DNAシーケンサ、生体計測機器等
④基盤教育群・共通科目 (新規) 学修状況診断テストの内部化 (継続) 地域連携実践教育プログラムの展開	449 23,500	新学力調査テスト開発 R3から一般財源により所要額を措置
⑤その他 (継続) 志願者及び入学者の動向変容等調査分析の実施(アドミッションセンター) (拡充) 教育課程編成及び教育(内部)質保証の充実(カリキュラムセンター) (新規) 著作権処理の利便性向上による教材作成等への支援(学術情報センター) (新規) 大学院に進学する障がい有する学生への支援(研究機器等支援)	900 4,042 1,485 596	事業評価ツールの充実、学修行動調査等可視化システムの開発 改正著作権法施行に伴う授業目的公衆送信補償金 視線計測機能付HMD、PC等の利用支援

(2) 外部資金獲得に向けた研究水準向上への対応

主な事業	予算額 (千円)	備考
①研究委員会・地域連携センター (拡充) 基礎的研究費の充実 (新規) 科研費申請勉強会開催 (拡充) シーズ発信の充実	35,000 350 2,316	20万円/人→25万円/人 オンライン公開講座の実施等
②学術情報センター (新規) 書籍出版に係る調査	200	調査旅費等
③人件費 (新規) リサーチアドミニストレーター(URA)の確保(教員定数増)	—	教員定数153人→155人

(3) 国際化への対応

主な事業	予算額 (千円)	備考
(拡充) ①国際交流・留学生センター 協定校開拓推進	1,200	視察・開拓用旅費等

(4) 業務の効率化・合理化への対応

主な事業	予算額 (千円)	備考
(拡充) ①財務会計システムの更新	39,996	既存システム陳腐化(6年目)に伴う更新
(新規) ②人事給与システムの導入	26,180	新規導入による事務効率化
(新規) ③大規模修繕工事に係る発注等業務支援の外部委託	7,684	技術人材確保難への対応

(5) 施設老朽化への対応 (計画的な大規模修繕工事の実施)

主な事業	予算額 (千円)	備考
①大和キャンパス9件(本部棟LED化, 火災報知設備更新等)	190,867	対前年度比+190,867千円(新棟分除く)
②太白キャンパス2件(講義棟・材料実験棟空調機更新等)	80,300	対前年度比▲146,711千円
③教員宿舎1件(外壁改修)	5,824	対前年度比+5,824千円

(6) 新型コロナウイルス感染症への対応

主な事業	予算額 (千円)	備考
①庁舎管理等委託	262,513	
うち、コロナ特別業務(警備員配置, 清掃・消毒)	19,249	R2は補正対応
②遠隔授業の実施(Zoomライセンス調達)	1,430	R2は補正対応

4 今後の対応等

当初予算において積み残している第3期中期計画目標達成のための新たな取組については、上半期における収入見通し(令和2年度決算剰余金, 自己収入の上振れ等)や当初予算の執行状況(請差の発生等)を見ながら, 財源の目途がたった段階で年度中の着手も見据え補正予算による対応も検討していくこととする。

公立大学法人宮城大学 令和3年度当初予算(案)

表1 令和3年度予算(収入)

(単位:千円)

款	項	目	R03当初予算額 A	備考	R02当初予算額 B	対前年度比 A-B	増減率
01 經常収益	01 運営費交付金	01 運営費交付金(経常経費)	2,368,945	教員定数, 職員定数, デザイン研究棟維持管理費等の増	2,155,523	213,422	9.9%
		02 運営費交付金(大規模修繕費)	316,887	大規模修繕277千円 高額備品(実験実習)40千円	302,940	13,947	4.6%
		03 運営費交付金(震災減免)	55,724	R3年度も継続(R4年度以降については継続未定のため, R4年度の入学金減免分は加味されておらず, R3年度の授業料減免分のみ)	40,434	15,290	37.8%
		運営費交付金 計	2,741,556		2,498,897	242,659	9.7%
	02 授業料収入	01 学群・研究科	813,399		848,207	△ 34,808	-4.1%
	03 入学金収入	01 学群・研究科	151,434	大学院改革に伴う大学院生の増(30人→46人)	149,084	2,350	1.6%
	04 検定料収入	01 学群・研究科	30,127	学群出願者の減	30,468	△ 341	-1.1%
	05 受託研究等収入	01 受託研究収入	75,000	中期計画目標額を計上	78,750	△ 3,750	-4.8%
		02 共同研究収入	0		0	0	
		受託研究等収入 計	75,000		78,750	△ 3,750	-4.8%
	06 受託事業等収入	01 認定看護師スクール事業収入	0		0	0	
		01 大学入学共通テスト事業収入	3,766		3,977	△ 211	-5.3%
		02 地域連携センター収入	6,800	農林中金みらい基金受託事業通年計上による増	3,100	3,700	119.4%
		03 その他の受託事業収入	0		0	0	
	受託事業等収入 計	10,566		7,077	3,489	49.3%	
	07 寄附金収入	01 宮城大学ネクストリーダース基金	0		3,000	△ 3,000	-100.0%
		02 宮城大学奨学寄附金収入	14,000	中期計画目標額を計上	21,000	△ 7,000	-33.3%
		寄附金収入 計	14,000		24,000	△ 10,000	-41.7%
	08 補助金等収益		100,584	授業料等減免(95,184千円), 後援会助成金(3,400千円), EDGE-NEXT(2,000千円) 復興人材育成事業費補助金はR2年度まで(R2:45,000千円)	153,170	△ 52,586	-34.3%
	09 財務収入		0		0	0	
	10 雑収入	01 各種証明料収入	202		204	△ 2	-1.0%
		02 科学研究費補助金間接経費収入	20,770	中期計画目標額を計上	20,827	△ 57	-0.3%
		03 教員宿舍賃貸収入	14,291		14,574	△ 283	-1.9%
		04 その他財産貸付料収入	3,273	コロナ禍を踏まえた貸付件数の減	3,752	△ 479	-12.8%
		05 生産物売払収益	5,024	坪沼農場生産物売払収入減	6,998	△ 1,974	-28.2%
		06 その他雑益	8,713	公立大学協会からの負担金収入の増(出向職員人件費相当分)	7,095	1,618	22.8%
	雑収入 計	52,273		53,450	△ 1,177	-2.2%	
11 講習料収入	01 教員免許状更新講習	810		1,200	△ 390	-32.5%	
	02 専門研修受講料	2,208		2,252	△ 44	-2.0%	
05 地域振興寄附金取崩		23,000		30,000	△ 7,000	-23.3%	
06 宮城大学ネクストリーダース基金積立金取崩		3,000		0	3,000		
07 目的積立金取崩		0		419,088	△ 419,088	-100.0%	
08 運営費交付金債務取崩		0		112,027	△ 112,027	-100.0%	
合計		4,017,957		4,407,670	△ 389,713	-8.8%	

表2 令和3年度予算(支出)

(単位:千円)

款	項	目	細目	細々目	R03当初予算額 A	備考	R2当初予算額 B	対前年度比 (A-B)	増減率
01 經常費用	01 業務費	01 教育経費	01 学群経費	11看護学群教育費	12,556	コピー代344千円含む 物品費、使用料等の削減	14,134	△ 1,578	-11.2%
				12看護学群実験実習費	23,986		24,956	△ 970	-3.9%
				看護学群計	36,542		39,090	△ 2,548	-6.5%
				21事業構想学群教育費	15,971	コピー代1,088千円含む 物品費、旅費等の削減	16,908	△ 937	-5.5%
				22事業構想学群実験実習費	5,425		5,466	△ 41	-0.8%
				29事業構想学群教育改善経費	0		610	△ 610	-100.0%
				事業構想学部計	21,396		22,984	△ 1,588	-6.9%
				31食産業学群教育費	12,570	コピー代277千円含む 教育補助費、物品費、備品費等の削減	15,448	△ 2,878	-18.6%
				32食産業学群実験実習費	19,198		19,645	△ 447	-2.3%
				33食産業学群農場運営管理経費	9,500		9,327	173	1.9%
				食産業学部計	41,268		44,420	△ 3,152	-7.1%
				41基礎教育群教育費	12,857	コピー代202千円含む 旅費、謝金、委託料等の削減 (新規)学力調査経費等	17,454	△ 4,597	-26.3%
				51地域連携実践教育費	23,500	R2は補助金事業の教員 人件費:対前年度比△3名分	45,000	△ 21,500	-47.8%
			学群経費計	135,563		168,948	△ 33,385	-19.8%	
			02 研究科経費	11看護学研究科教育費	4,002		4,107	△ 105	-2.6%
				21事業構想学研究科教育費	2,402	旅費の削減	3,426	△ 1,024	-29.9%
				31食産業学研究科教育費	2,876	院生増による支援費増	2,113	763	36.1%
			研究科経費計	9,280		9,646	△ 366	-3.8%	
			03 全学学務費	11アドミッションセンター経費	30,835	入試システム契約金額の変動に伴う減	33,076	△ 2,241	-6.8%
		12カリキュラムセンター経費		7,402	コモンズ運営経費の減	10,580	△ 3,178	-30.0%	
		13チュードントサービスセンター 経費		18,575	障がい学生支援員経費の減 コンボケーションデイ経費の減(秋のみの実施を想定)	21,293	△ 2,718	-12.8%	
		14キャリア・インターンシップセン ター経費		8,947	R2は後援会助成費含む(R3は補助金事業に移管) 就労状況調査費の減	15,055	△ 6,108	-40.6%	
		全学学務費計	65,759		80,004	△ 14,245	-17.8%		
		教育経費計	210,602		258,598	△ 47,996	-18.6%		
		02 研究経費	01 教員研究費・ 海外旅費	01基礎的研究費	35,000	教員一人当たり配分額の増額による増	33,000	2,000	6.1%
				02特別研究費	35,000	指定研究の見直し 地連FS事業分の移管	39,700	△ 4,700	-11.8%
				03国際研究費	2,000	海外研究費の削減	4,500	△ 2,500	-55.6%
				教員研究費計	72,000		77,200	△ 5,200	-6.7%
			02 共通研究経 費	04国際学会等派遣旅費	1,500	派遣回数削減	3,900	△ 2,400	-61.5%
				01学系運営経費	0	R3より廃止	103	△ 103	-100.0%
				02共通研究費	5,036		4,817	219	4.5%
		研究経費計	78,536		86,020	△ 7,484	-8.7%		
		03 教育研究支 援経費	01学術情報センター経費	71,894		72,146	△ 252	-0.3%	
			02情報システムセンター経費	181,041	情報NW基盤システム更新業務等の削減	183,445	△ 2,404	-1.3%	
			03国際交流・留学生センター経費	5,314	プログラム参加旅費、委託料等の削減	7,327	△ 2,013	-27.5%	
			04地域連携センター経費	38,368	うち受託事業費6,775千円、人件費23,000千円(対前年度 比△1名分)	41,768	△ 3,400	-8.1%	
			05教員免許状更新講習事業費	810		1,200	△ 390	-32.5%	
			06専門研修経費	2,208	看護人材育成・支援事業経費	2,250	△ 42	-1.9%	
			07高大連携事業費	723	高大連携プログラム内容の見直しによる減	992	△ 269	-27.1%	
		教育研究支援経費計	300,358		309,128	△ 8,770	-2.8%		
		04 受託研究費	01受託研究費(直接経費)	67,500		70,875	△ 3,375	-4.8%	
			02共同研究費(直接経費)	0		0	0		
		受託研究費(直接経費)	67,500		70,875	△ 3,375	-4.8%		
		05 受託事業費	01受託事業費	01大学入学共通テスト実施経費	3,766	大学入学共通テスト実施経費支出基準に基づく積算値で 計上	3,977	△ 211	-5.3%
		受託事業費計	3,766		3,977	△ 211	-5.3%		
		06 補助金事業	01補助金事業	5,400	後援会助成金(3,400千円)、EDGE-NEXT(2,000千円) 復興人材育成事業費補助金はR3より地域連携実践教育 費へ移管(R2:45,000千円)	11,770	△ 6,370	-54.1%	
		補助金事業費計	5,400		11,770	△ 6,370	-54.1%		
07 寄附金事業	01奨学寄付金研究経費(直接経費)	13,300		19,950	△ 6,650	-33.3%			
	02宮城大学ネクスティアーズ基金事業費	3,000		3,000	0	0.0%			
寄附金事業費計	16,300		22,950	△ 6,650	-29.0%				

表2 令和3年度予算(支出)

(単位:千円)

款	項	目	細目	細々目	R03当初予算額 A	備考	R2当初予算額 B	対前年度比 (A-B)	増減率	
01 業務費	08	役員人件費		01理事長・副理事長・理事人件費	51,086		51,240	△ 154	-0.3%	
				02監事人件費	806	定期監査・臨時監査経費の減(定例理事会時に実施)	1,116	△ 310	-27.8%	
	役員人件費計				51,892		52,356	△ 464	-0.9%	
	09	教員人件費		01教員人件費	1,571,824		1,571,460	364	0.0%	
				02非常勤教員人件費	25,028	H30-R2実績額の平均値	42,588	△ 17,560	-41.2%	
				03特任教員人件費	41,636		42,296	△ 660	-1.6%	
	教員人件費計				1,638,488		1,656,344	△ 17,856	-1.1%	
	10	事務職員人件費		01事務職員人件費	433,070		436,638	△ 3,568	-0.8%	
				02非常勤事務職員人件費	128,812	有期雇用職員を35名とし積算(R2:43名)	136,463	△ 7,651	-5.6%	
	事務職員人件費計				561,882		573,101	△ 11,219	-2.0%	
	人件費計				2,252,262		2,281,801	△ 29,539	-1.3%	
	業務費計				2,934,724		3,045,119	△ 110,395	-3.6%	
	01 経常費用	02 一般管理費	01法人費用		01役員等費用	1,620	出張旅費の減	3,141	△ 1,521	-48.4%
					02経営審議会費	274		373	△ 99	-26.5%
04弁護士、社労士、会計士、税理士費用					3,784		3,892	△ 108	-2.8%	
05会計監査人費用					7,623	R3は会計監査人更新年度	7,260	363	5.0%	
06法人運営危機管理費用					0		0	0		
07評価関連費用					460	出張旅費の減	485	△ 25	-5.2%	
法人費用計					13,761		15,151	△ 1,390	-9.2%	
02事務経費				01庁舎管理経費	263,899	大和C・太白C:感染症対策費用の増 太白C:消防設備点検費用の増	239,292	24,607	10.3%	
				02光熱水費	125,250	電気使用量契約更新による減	161,918	△ 36,668	-22.6%	
				03公用車等経費	3,429		4,055	△ 626	-15.4%	
				04事務局経費	31,476	出張旅費, 消耗品費等の減	34,412	△ 2,936	-8.5%	
				05財務会計システム運営費	39,996	システム更新による増	4,686	35,310	753.5%	
				06給与計算アウトソーシング	2,502	人事給与システム導入による減	4,279	△ 1,777	-41.5%	
				07銀行振込手数料	1,056		1,134	△ 78	-6.9%	
		08職員健康診断費		751		703	48	6.8%		
		09職員採用経費		1,613	出張旅費, 掲載料の減	2,922	△ 1,309	-44.8%		
		10産業医		1,992	産業医面談回数の増	1,556	436	28.0%		
11公租公課		6,948		8,833	△ 1,885	-21.3%				
12事務局職員研修経費		1,443		1,931	△ 488	-25.3%				
13学務管理システム運営費		24,572		26,115	△ 1,543	-5.9%				
14人事給与システム運営費		26,180	新規導入	4,400	21,780	495.0%				
事務経費計				531,107		496,236	34,871	7.0%		
03維持修繕費			01建物設備維持管理経費	26,890		27,853	△ 963	-3.5%		
			02施設・環境整備費	0		48,516	△ 48,516	-100.0%		
維持修繕費計				26,890		76,369	△ 49,479	-64.8%		
04企画・広報費				33,725	サテライトキャンパススタッフの減	39,581	△ 5,856	-14.8%		
05教員宿舍費				5,135		5,010	125	2.5%		
一般管理費計				610,618		632,347	△ 21,729	-3.4%		
経常費用計(退職金を除く)				3,545,342		3,677,466	△ 132,124	-3.6%		
02退職手当費用				140,044	定年退職者9名分	68,085	71,959	105.7%		
経常費用計(退職金を含む)				3,685,386		3,745,551	△ 60,165	-1.6%		
03大規模修繕費				284,675	大和C照明・火災報知器等更新, 太白C空調更新等	649,000	△ 364,325	-56.1%		
04実験実習機器更新費				47,896	看護:3,305千円(対前年度比△1,878千円) 事業:12,696千円(対前年度比+4,760千円) 食産:31,895千円(対前年度比+31,895千円)	13,119	34,777	265.1%		
合計				4,017,957		4,407,670	△ 389,713	-8.8%		

研究推進・地域未来共創センター設置に伴う関連規則等の一部改正 別表

NO	名称	制定	規則等番号	新旧対照表 ページ
1010	公立大学法人宮城大学 基本規則	H21.4.1	規則第1号	資料1
1070	公立大学法人宮城大学 事務組織規程	H21.4.1	規程第6号	1
1093	公立大学法人宮城大学 カリキュラムセンター運営規程	H30.4.1	規程163号	資料3
1097	公立大学法人宮城大学 学術情報センター運営規程	H30.4.1	規程167号	2
1098	公立大学法人宮城大学 情報システムセンター運営規程	H30.4.1	規程168号	資料4
1099	公立大学法人宮城大学 国際交流・留学生センター運営規程	H21.4.1	規程第10号	2
1100	公立大学法人宮城大学 地域連携センター運営規程	H21.4.1	規程第11号	3
1160	公立大学法人宮城大学 人権侵害の防止等に関する規程	H21.4.1	規程第15号	(略)
1170	公立大学法人宮城大学 危機管理規程	H21.4.1	規程第16号	(略)
1190	公立大学法人宮城大学 事務決裁規程	H21.4.1	規程第18号	7
1200	公立大学法人宮城大学 事務細則	H21.4.1	細則第1号	13
1220	公立大学法人宮城大学 公印規程	H21.4.1	規程第19号	(略)
1230	公立大学法人宮城大学 文書規程	H21.4.1	規程第20号	(略)
2272	宮城大学地域連携センター地域振興事業部研修派遣職員の学生納付金の免除に関する規程	H23.7.27	規程第114号	(略)
2283	公立大学法人宮城大学業務アシスタント取扱規程	H26.9.24	規程第138号	17
3020	公立大学法人宮城大学 研究倫理審査規程	H21.4.1	規程第52号	20
3030	公立大学法人宮城大学 発明等取扱規程	H21.4.1	規程第53号	20
3040	公立大学法人宮城大学 利益相反管理規程	H21.4.1	規程第54号	21
3070	公立大学法人宮城大学 薬品等管理規程	H21.4.1	規程第57号	21
3080	公立大学法人宮城大学における研究倫理の保持並びに研究活動上の不正行為及び研究費の不正使用の防止等に関する規程	H21.7.22	規程第93号	21
4010	公立大学法人宮城大学 就業規則	H21.4.1	規則第3号	(略)
4011	公立大学法人宮城大学職員のサービスの宣誓に関する規程	H25.9.25	規程第134号	(略)
4060	宮城大学教員人事規程	H21.4.1	規程第24号	(略)
4063	教員人事の進め方について	H21.6.3	—	(略)
4090	公立大学法人宮城大学 賃金規程	H21.4.1	規程第66号	(略)
4092	事務局職員昇給取扱要綱	H24.9.26	—	(略)
4140	公立大学法人宮城大学 名誉教授称号授与規程	H21.4.1	規程第70号	(略)
4150	公立大学法人宮城大学 地域連携センター地域振興事業部研修派遣職員の受入に関する規程	H21.4.1	規程第71号	(略)
4180	公立大学法人宮城大学地域連携センター地域振興事業部調査研究員等の賃金の特例等に関する規程	H21.4.1	規程第74号	廃止
4220	事務局職員評価要綱	H24.9.26	—	(略)
4260	事務局職員自己啓発支援要綱	H25.3.27	—	(略)
4280	公立大学法人宮城大学クロスアポイントメント制度に関する規程	R1.10.1	規程第177号	(略)
5020	公立大学法人宮城大学 財務運営要綱	H21.4.1	—	(略)
5040	公立大学法人宮城大学 施設等管理使用規程	H21.4.1	規程第78号	(略)
5190	公立大学法人宮城大学 会計規程実施規程	H21.4.1	規程第89号	22
5230	公立大学法人宮城大学 乗合自動車管理運用規程	H22.2.24	規程第100号	(略)

公立大学法人宮城大学賃金規程の一部改正について

1 改正趣旨

- (1) 期末手当について、宮城県の給与条例等の改正に準じた規程の改正を行うもの。
- (2) 賃金請求権の消滅時効期間について、賃金規程において、2年間と規定されているが、労働基準法が一部改正されたことから、この規定を削除し、同法の定めるところによるものとするもの。
- (3) 文言の整理等、所要の改正を行うもの。

2 改正内容

(1) 期末手当

- ・期末手当の支給月数を引下げ。

6月期・12月期：1.275月 → 1.20月 年間計0.15月引下げ
(期末手当，勤勉手当の年間計4.45月分→4.30月分)

【令和3年度12月期の特例措置】

- ・期末手当の支給月数を，12月期のみ0.15月分引下げ。

(例1：賃金規程適用職員の支給月数※副学長，学群長等並びに再雇用職員を除く)

年 度		6月期	12月期
R3年度 (※特例 措置)	期末手当	1.275月(支給済み)	<u>1.125月(現行1.275月)</u>
	勤勉手当	0.95月(支給済み)	0.95月
	計	2.225月(支給済み)	<u>2.075月(現行2.225月)</u>
R4年度 以降	期末手当	<u>1.20月</u>	<u>1.20月</u>
	勤勉手当	0.95月	0.95月
	計	<u>2.15月</u>	<u>2.15月</u>

(例2：副学長，学群長等の支給月数)

年 度		6月期	12月期
R3年度 (※特例 措置)	期末手当	1.075月(支給済み)	<u>0.925月(現行1.075月)</u>
	勤勉手当	1.15月(支給済み)	1.15月
	計	2.225月(支給済み)	<u>2.075月(現行2.225月)</u>
R4年度 以降	期末手当	<u>1.0月</u>	<u>1.0月</u>
	勤勉手当	1.15月	1.15月
	計	<u>2.15月</u>	<u>2.15月</u>

(2) 賃金請求権

第4条の規定を削除し，労働基準法の規定の定めるところによるものとする（賃金支払期日から5年に延長しつつ，当分の間はその期間を3年とする）。

(参考：現行規定)

第4条 この規程による賃金の請求権は2年間とし，この間に請求を行わない場合には時効によって消滅する。

(4) その他所要の改正

第3条，第12条及び第29条について，文言の整理等，所要の改正を行うもの。

3 施行年月日

令和3年12月1日から施行する。ただし、(1)の期末手当については、附則により、令和3年12月期の特例措置を適用する。

4 新旧対照表

別紙のとおり

公立大学法人宮城大学賃金規程の一部改正について

1 改正趣旨

事務職員の初任給基準について、国や自治体との均衡を図ることにより、優れた人材を確保しやすくするため、1級25号俸とするもの（4号俸引き上げ）。なお、既に採用されている職員についても、経過措置により4号俸引き上げる。

2 改正内容

事務職員の初任給基準

別表第4 初任給料月額基準（第9条関係）

最終学歴	職務経験年数	職	初任給料表級・号
4年制大学卒業	0年	事務職	事務職1級25号俸 (現行1級21号俸)

3 施行年月日

令和3年12月22日から施行し、改正後の公立大学法人宮城大学賃金規程の規定は、令和3年4月1日から適用する。

4 新旧対照表

別紙のとおり

令和 2 年度決算のポイント

1 新型コロナウイルス感染症にかかる影響

(1) マクロでの収支への影響 (※数値は決算報告書における当初予算比)

①費用への影響	+	56	百万円
・費用増 コロナ対策の実施	+	123	百万円
・費用減 コロナを要因とした事業未執行等	▲	67	百万円
②収入への影響	+	104	百万円
・収入増 感染症対策補助金	+	75	百万円
目的積立金取崩	+	33	百万円
・収入減 教員免許状更新講習収入	▲	1	百万円
その他雑益 (財産貸付等)	▲	3	百万円
③実質的影響 (②-①)	+	48	百万円 (目的積立金除く 15 百万円)

(2) 新型コロナウイルス感染症対策の内容 (決算額 123 百万円)

9月補正予算において、大規模な新型コロナウイルス感染症対策経費を計上。県補助金「感染症対策事業費補助金」及び自己財源(目的積立金の取崩等)を充当し、対策に取り組んできたところ。

①事業内容

(単位：千円)

事業名	内容	決算額
県補助金		74,836
学内環境改善事業	消耗品・備品購入、消毒業務委託、窓改修、講義スペース確保(固定机等撤去)等	40,774
遠隔授業等学習機会確保事業	Zoomライセンス等	2,446
看護実習代替用必要物品確保	シミュレータ、ベッドサイドモニタ等実習機器購入	31,616
自己財源		48,165
大和キャンパス講義室化	本部棟3階4研究室・453講義室間仕切り撤去・可動間仕切り設置、可動機・椅子購入等	17,946
太白キャンパス講義室化	講義棟改修(固定机等撤去)、メモリアルホール大講義室化(プロジェクタ、可動機・椅子等備品購入、照明・空調整備等)	25,384
その他	消毒業務委託、水栓レバー工事、入退館管理等	4,835
計		123,000

②貸借対照表への影響

コロナ対策の実施により、講義室化のための備品購入や看護実習機器購入に伴う資産追加が発生。

(単位：千円)

	対象	計上額
建物	大和キャンパス本部棟3階講義室可動間仕切工事	+2,530
工具器具備品	看護実習機器(シミュレータ、ベッドサイトモニタ等11件)	+16,332
	太白キャンパスメモリアルホール講義室化備品(空調、プロジェクタ)2件	+4,986
合計		+23,848

③損益計算書への影響

資産計上されない経費(99,152千円)については費用勘定となり、損益計算書上、看護実習機器(15,284千円)については教育経費、それ以外(83,868千円)については一般管理費にそれぞれ費用計上。

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響による事業未執行による支出減の内容 (▲67百万円)

① コロナを要因に減となった主な費目

● 教育経費

- ・ 看護学群実験実習費 学外実習受入減 ▲6百万円
- ・ カリキュラムセンター経費 ラーニングcommons活動縮小による減 ▲3百万円

● 研究経費

- ・ 学会等出張見送りに伴う旅費減 ▲14百万円

● 教育研究支援経費

- ・ 国際交流・留学生センター経費 協定校視察・リアルアジア中止等による事業費減 ▲3百万円

● 一般管理費

- ・ 水道光熱水費 契約変更による単価減, 前期遠隔授業実施による使用量減 ▲19百万円
 ※使用量 大和: 2,193千kw/h(対前年度比▲56千kw/h) 太白: 1,789千kw/h(対前年度比▲120千kw/h)

② コロナを要因に中止・凍結となった主な事業

● スチューデントサービスセンター経費

- ・ コンボケーションデイ開催中止 ▲2百万円

● 教員免許状更新講習事業費

- ・ 教員免許状更新講習の中止 ▲1百万円 (ただし, 収入も減少しているため概ね相殺)

● 施設・環境整備費

- ・ 大和D&Mcommons・太白D&Mcommons整備の凍結 ▲19百万円

2 デザイン研究棟関連 (決算額345百万円 (前年度比+78百万円))

運営費交付金, 目的積立金の取崩を財源として, 平成30年度の設計業務を含め, 3カ年にわたり整備を進めてきたデザイン研究棟は令和2年6月に竣工したところであり財務諸表にも影響。

(1) 決算額の推移

(単位: 千円)

		H30	R1	R2	計
決算額		27,172 (設計委託費)	266,390 (工事前払金)	344,537 (工事残分・その他設備)	638,099
財源	運営費交付金	0	263,450	52,062	315,512
	授業料			10,096	10,096
	目的積立金	27,172	2,940	282,379	312,491

(2) 貸借対照表への影響

① H30, R1・・・建設仮勘定として資産計上

② R2・・・固定資産として資産計上 固定資産 +628,003千円

(単位: 千円)

	デザイン研究棟関連		<参考> 法人全体		
	対象	計上額	R2	R1	R2-R1
建物	本体・ネットワーク	+582,780	5,760,349	5,279,857	+480,492
構築物	外構	+39,448	110,769	96,495	+14,274
工具器具備品	プリンタ・ブラインド・無線LAN	+5,775	235,230	309,036	▲73,806
計		+628,003	13,018,471	12,991,107	+27,364

これまで建物等の減価償却より, 資産は減少をたどっていたが, 令和2年度はデザイン研究棟の資産計上により, 増加することになった。

(3) 損益計算書への影響

全体事業費638,099千円のうち、以下については費用勘定となり、損益計算書上の一般管理費に費用計上(10,096千円)。

- ①什器(資産(50万円以上)とならない机・椅子等備品)購入 2,701千円
- ②外構撤去費用 6,835千円
- ③PCB調査・産廃処理費用 560千円

3 第2期中期計画最終年度による例年にない会計処理**(1) 運営費交付金債務の全額収益化(収益化額:339,961千円)**

運営費交付金の震災減免(授業料減免)及び人件費について、例年は債務として翌年度に繰り越す処理を行うが、中期計画最終年度においては全額収益化を行うこととなり、損益計算書上では臨時利益に計上される。

(2) 当期未処分利益、目的積立金残額の積立金への振替

当期未処分利益(440,660千円)については、地方独立行政法人法第40条第3項による処分(目的積立金計上)は行わず、目的積立金期末残高(268,517千円)と合わせ全額を積立金に振替を行う(地方独立行政法人法第40条第1項)。

(3) 第3期中期計画期間への繰越について

3(2)の積立金は、設立団体の承認により繰越を行うことができる。繰越承認される積立金は経営努力によるものとされ、積立金から経営努力によらない全額収益化された運営費交付金債務分を控除した額を想定。

- ①目的積立金期末残高 268,517千円
- ②未処分利益 440,660千円
- ③運営費交付金債務分 339,961千円 ①+②-③=369,215千円

4 新修学支援制度開始に伴う新たな会計処理**(1) 損益計算書への計上の考え方**

- ①授業料等減免実績相当額について「授業料等減免費補助金」として県から大学に交付
- ②同補助金を財源に学生に対し奨学金として支払
(費用:教育経費(奨学費) 収益:補助金等収益)
- ③学生は奨学金を基に授業料等を納付
- ④納付された授業料等収入を財源に教育経費等に充当
(費用:教育経費やその他費用 収益:授業料等収益)

(2) 損益計算書上の教育経費の取扱い

上記の考え方に基づく会計処理の結果、損益計算書上、授業料等減免実績相当額(99,917千円)が、収益及び費用に対し両建てで二重の計上になるため、教育経費の対前年度比較において注意が必要。

教育経費は505百万円で前年度比+64百万円となっているが、奨学費分(99,917千円)を除くと教育経費は404百万円となり、実質▲36百万円となっている。

※決算報告書では補助金収入(99,917千円)としてのみ計上

Ⅲ 各審議会・委員会等の名簿

公立大学法人宮城大学 役員

(定款第8条, 基本規則第6条)

令和3年4月1日現在

職 名	氏 名	摘 要
理事長	川 上 伸 昭	学長
副理事長 (企画・広報担当)	正 木 毅	
理事 (教育担当)	西 川 正 純	副学長
理事 (研究, 学術情報, 産学地域連携, 国際交流担当)	風 見 正 三	副学長
理事 (学生支援担当)	武 田 淳 子	副学長
理事 (総務・人事労務担当)	西 條 力	
理事 (財務・施設担当)	工 藤 和 浩	
監事	土 井 秀 逸	任期: 2022年度財務諸表承認日まで
監事	柴 田 純 一	任期: 2022年度財務諸表承認日まで

※1 定例理事会は, 原則, 毎月末水曜日午後3時から, 大会議室で開催
担当: 総務課

公立大学法人宮城大学 主要構成員

令和3年4月1日現在

職 名	氏 名	摘 要
学長	川 上 伸 昭	理事長
副学長（教育担当）	西 川 正 純	理事，食産業学群長
副学長（研究，学術情報，産学地域連携，国際交流担当）	風 見 正 三	理事，図書館長，最高情報責任者（CIO），研究推進・地域未来共創センター長，研究委員会委員長，研究費審査会委員長
副学長（学生支援，広報担当）	武 田 淳 子	理事
副学長（入試改革，高大連携担当）	井 上 誠	アドミッションセンター長，キャンパス整備委員会委員長
○学群・研究科		
看護学群長兼看護学研究科長	高 橋 和 子	
事業構想学群長兼事業構想学研究科長	中 田 千 彦	
食産業学群長兼食産業学研究科長	西 川 正 純	（再掲）
基盤教育群長	平 岡 善 浩	事業構想学群副学群長
○教育推進センター等		
アドミッションセンター長	井 上 誠	（再掲）
〃 高大連携推進室長	笠 原 紳	アドミッションセンター副センター長
カリキュラムセンター長	蒔 苗 耕 司	
〃 コモンズ運営室長	井 上 達 志	
〃 地域連携実践教育推進室長	郷 古 雅 春	
スチューデントサービスセンター長	真 覚 健	
〃 健康支援室長	風 間 逸 郎	
キャリア・インターンシップセンター長	田 邊 信 之	
〃 キャリア開発室長	須 田 義 人	キャリア・インターンシップセンター副センター長
〃 インターンシップ開発室長	大 嶋 淳 俊	キャリア・インターンシップセンター副センター長
キャンパス整備委員会委員長	井 上 誠	（再掲）
○全学センター		
学術情報センター長	茅 原 拓 朗	
情報システムセンター長	木 村 和 彦	
〃 教学IR室長	木 村 和 彦	（再掲）
国際交流・留学生センター長	川 島 滋 和	
研究推進・地域未来共創センター長	風 見 正 三	（再掲）
○図書館，CIO，附属農場，事務局		
図書館長	風 見 正 三	（再掲）
最高情報責任者（CIO）	風 見 正 三	（再掲）
附属農場長	中 村 聡	
事務局長	藤 田 博	

公立大学法人宮城大学 経営審議会委員

＜令和3年4月1日～令和5年3月31日＞

(定款第19条, 基本規則第16条)

令和3年4月1日現在

	構 成	根拠規定 基本規則	氏 名	摘 要
1	理事長	1号	川 上 伸 昭	学長
2	副理事長	〃	正 木 毅	
3	理事（財務・施設担当）	〃	工 藤 和 浩	
4	理事長が指名する役職員	〃	西 川 正 純	理事（教育担当）
5	〃	〃	風 見 正 三	理事（研究, 学術情報, 産学地域連携, 国際交流担当）
6	理事長が任命する有識者 （五十音順）	2号	阿 部 博 之	（公社）日本工学アカデミー名誉会長, 元東北大学総長
7	〃	〃	石 井 幹 子	（公社）宮城県看護協会会長
8	〃	〃	大 山 健 太 郎	アイリスグループ会長
9	〃	〃	小 野 和 宏	宮城県町村会理事兼事務局長
10	〃	〃	佐 藤 勘 三 郎	宮城県中小企業団体中央会会長
11	〃	〃	田 中 正 人	（株）葉匠三全顧問
12	〃	〃	堀 切 川 一 男	国立大学法人東北大学大学院工学研究科教授

※ 経営審議会は、通常年2回、大会議室で開催
担当：企画・入試課

公立大学法人宮城大学 教育研究審議会委員

(定款第23条, 基本規則第18条)

令和3年4月1日現在

	職 名	根拠規定 基本規則19条	氏 名	摘 要
1	学長	1号	川上 伸 昭	理事長
2	副理事長	2号	正 木 毅	
3	理事 (教育担当)	3号	西川 正 純	副学長
4	理事 (研究, 学術情報, 産学地域連携, 国際交流担当)	〃	風見 正 三	副学長
5	理事 (学生支援担当)	〃	武田 淳 子	副学長
6	理事 (総務・人事労務担当)	〃	西 條 力	
7	理事 (財務・施設担当)	〃	工藤 和 浩	
—	副学長 (教育担当)	4号	西川 正 純	(再掲)
—	副学長 (研究, 学術情報, 産学地域連携, 国際交流担当)	〃	風見 正 三	(再掲)
—	副学長 (学生支援, 広報担当)	〃	武田 淳 子	(再掲)
8	副学長 (入試改革, 高大連携担当)	〃	井 上 誠	アドミッションセンター長, キャンパス整備委員会委員長
9	看護学群長兼看護学研究科長	5号	高橋 和 子	
10	事業構想学群長兼事業構想学研究科長	〃	中田 千 彦	
—	食産業学群長兼食産業学研究科長	〃	西川 正 純	(再掲)
11	基盤教育群長	〃	平岡 善 浩	
12	看護学群副学群長	〃	菅原 よしえ	
—	事業構想学群副学群長	〃	平岡 善 浩	(再掲)
13	事業構想学群副学群長	〃	藤澤 由 和	
14	食産業学群副学群長	〃	井上 達 志	
15	基盤教育群副群長	〃	T・フェラン	
16	基盤教育群副群長	〃	山本 まゆみ	
17	看護学研究科副研究科長	〃	大熊 恵 子	
18	事業構想学研究科副研究科長	〃	糟谷 昌 志	
19	食産業学研究科副研究科長	〃	笠原 紳	
—	アドミッションセンター長	6号	井上 誠	(再掲)
20	カリキュラムセンター長	〃	蒔苗 耕 司	
21	スチューデントサービスセンター長	〃	真 覚 健	
22	キャリア・インターンシップセンター長	〃	田邊 信 之	
—	キャンパス整備委員会委員長	〃	井上 誠	(再掲)
23	学術情報センター長	7号	茅原 拓 朗	
24	情報システムセンター長	〃	木村 和 彦	
25	国際交流・留学生センター長	〃	川島 滋 和	
—	研究推進・地域未来共創センター長	〃	風見 正 三	(再掲)
26	事務局長	8号	藤田 博	

※ 教育研究審議会は, 原則, 毎月第3水曜日午後2時30分から, 大会議室で開催
担当: 学務課

公立大学法人宮城大学 評価委員会 (基本規則第20条)

- ① 中期計画及び年度計画(原案の策定, 実施案の策定, 執行管理, 報告書作成)に関すること
- ② 自己点検評価及び外部評価(認証評価を含む。)に関すること
- ③ 目標評価(授業評価を除く。)に関すること
- ④ その他理事長から検討を指示された事項

令和3年4月1日現在

役 職	職 名	氏 名	摘 要
委員長	副理事長	正 木 毅	
副委員長	理事(総務・人事労務担当)	西 條 力	
	理事(教育担当)	西 川 正 純	副学長
	理事(研究, 学術情報, 産学地域連携, 国際交流担当)	風 見 正 三	副学長
	理事(財務・施設担当)	工 藤 和 浩	
	副学長(学生支援, 広報担当)	武 田 淳 子	
	副学長(入試改革, 高大連携室)	井 上 誠	アドミッションセンター長, キャンパス整備委員会委員長
	看護学群長兼看護学研究科長	高 橋 和 子	
	事業構想学群長兼事業構想学研究科長	中 田 千 彦	
	食産業学群長兼食産業学研究科長	西 川 正 純	(再掲)
	基盤教育群長	平 岡 善 浩	
	アドミッションセンター長	井 上 誠	(再掲)
	カリキュラムセンター長	蒔 苗 耕 司	
	スチューデントサービスセンター長	真 覚 健	
	キャリア・インターンシップセンター長	田 邊 信 之	
	キャンパス整備委員会委員長	井 上 誠	(再掲)
	学術情報センター長	茅 原 拓 朗	
	情報システムセンター長	木 村 和 彦	
	国際交流・留学生センター長	川 島 滋 和	
	研究推進・地域未来共創センター長	風 見 正 三	(再掲)
	事務局長	藤 田 博	

※ 担当: 企画・入試課

公立大学法人宮城大学 広報委員会 (基本規則第21条)

- ① 広報に関する基本方針の策定に関すること
- ② 各種メディアを活用した広報活動に関すること
- ③ 広報活動に関する学内等との連絡調整に関すること
- ④ その他広報に関すること

令和3年4月1日現在

役 職	職 名	氏 名	摘 要
委員長	副理事長	正 木 毅	
副委員長	副学長(学生支援, 広報担当)	武 田 淳 子	
	看護学群長兼看護学研究科長	高 橋 和 子	
	事業構想学群長兼事業構想学研究科長	中 田 千 彦	
	食産業学群長兼食産業学研究科長	西 川 正 純	
	基盤教育群長	平 岡 善 浩	
	学術情報センター長	茅 原 拓 朗	
	情報システムセンター長	木 村 和 彦	
	国際交流・留学生センター長	川 島 滋 和	
	研究推進・地域未来共創センター長	風 見 正 三	
	事務局長	藤 田 博	

※ 担当: 企画・入試課

公立大学法人宮城大学 懲戒審査会 (基本規則第22条)

- ① 職員の懲戒に関する事
- ② 当該職員が所属する学群長、研究科長、センター又は事務局長その他管理監督者に係る管理者責任の有無及び程度に関する事
- ③ その他理事長が必要と認める事項

令和3年4月1日現在

役 職	職 名	氏 名	摘 要
委員長	副理事長	正 木 毅	
	理事 (総務・人事労務担当)	西 條 力	
	看護学群長兼看護学研究科長	高 橋 和 子	
	事業構想学群長兼事業構想学研究科長	中 田 千 彦	
	食産業学群長兼食産業学研究科長	西 川 正 純	
	基盤教育群長	平 岡 善 浩	
	事務局長	藤 田 博	

※ 担当：総務課

公立大学法人宮城大学 兼業審査会 (基本規則第23条)

- ① 技術移転事業者の役員等 (監査役を除く。) の兼業許可に関する事
- ② 研究成果活用企業の役員等 (監査役を除く。) の兼業許可に関する事
- ③ 株式会社又は有限会社の監査役の兼業に関する事
- ④ その他理事長が必要と認める事項

令和3年4月1日現在

役 職	職 名	氏 名	摘 要
委員長	副理事長	正 木 毅	
	理事 (総務・人事労務担当)	西 條 力	
	副学長 (研究, 学術情報, 産学地域連携, 国際交流担当)	風 見 正 三	研究推進・地域未来共創センター長
	看護学群長兼看護学研究科長	高 橋 和 子	
	事業構想学群長兼事業構想学研究科長	中 田 千 彦	
	食産業学群長兼食産業学研究科長	西 川 正 純	
	基盤教育群長	平 岡 善 浩	
	アドミッションセンター長	井 上 誠	キャンパス整備委員会委員長
	カリキュラムセンター長	蒔 苗 耕 司	
	スチューデントサービスセンター長	真 覚 健	
	キャリア・インターンシップセンター長	田 邊 信 之	
	キャンパス整備委員会委員長	井 上 誠	(再掲)
	学術情報センター長	茅 原 拓 朗	
	情報システムセンター長	木 村 和 彦	
	国際交流・留学生センター長	川 島 滋 和	
	研究推進・地域未来共創センター長	風 見 正 三	(再掲)
	事務局長	藤 田 博	

※ 担当：総務課

公立大学法人宮城大学 研修審査会 (基本規則第24条)

- ① 国内派遣研修（研修期間が1月以上のものに限る。）の承認に関する事
- ② 海外派遣研修（研修期間が1月以上のものに限る。）の承認に関する事
- ③ 学外自主研修に関する事
- ④ 大学院修学研修に関する事
- ⑤ その他理事長が必要と認める事項

令和3年4月1日現在

役職	職名	氏名	摘要
委員長	副理事長	正木 毅	
	理事（総務・人事労務担当）	西條 力	
	副学長（教育担当）	西川 正純	
	当該申請に係る学群長等	—	
	事務局長	藤田 博	

※ 担当：総務課

公立大学法人宮城大学 学群・研究科役職員構成

(基本規則第30条・32条・33条)

令和3年4月1日現在

職名	氏名	摘要
看護学群長兼看護学研究科長	高橋 和子	
看護学群副学群長	菅原 よしえ	
看護学研究科副研究科長	大熊 恵子	
事業構想学群長兼事業構想学研究科長	中田 千彦	
事業構想学群副学群長	平岡 善浩	
事業構想学群副学群長	藤澤 由和	
事業構想学研究科副研究科長	糟谷 昌志	
食産業学群長兼食産業学研究科長	西川 正純	
食産業学群副学群長	井上 達志	
食産業学研究科副研究科長	笠原 紳	
基盤教育群長	平岡 善浩	(再掲)
基盤教育群副群長	T・フェラン	
基盤教育群副群長	山本 まゆみ	

公立大学法人宮城大学 教員人事委員会 (基本規則第35条)

- ① 教員の採用に係る選考に関する事
- ② 教員の再任に係る審査に関する事
- ③ 教員の昇任に係る選考に関する事
- ④ 教員の評価及び教員資格審査に関する事
- ⑤ その他理事長が必要と認める事項

令和3年4月1日現在

役職	職名	氏名	摘要
委員長	学長	川上 伸昭	
委員長代理	理事（総務・人事労務担当）	西條 力	
	副学長（教育担当）	西川 正純	
	副学長（研究、学術情報、産学地域連携、国際交流担当）	風見 正三	
	副学長（学生支援、広報担当）	武田 淳子	
	副学長（入試改革、高大連携担当）	井上 誠	
	当該人事に係る学群長等	—	
	学長が定める委員	—	

※ 担当：総務課

公立大学法人宮城大学 研究委員会 (基本規則第36条)

- ① 研究の推進に関すること。
- ② 教員研究費，外部研究資金等の研究費及び国際学会等派遣旅費に関すること。
- ③ 研究倫理に関すること。
- ④ 発明，特許等知的財産に関すること。
- ⑤ その他理事長から検討を指示された事項に関すること。

令和3年4月1日現在

役 職	職 名	氏 名	摘 要
委員長	理事（研究，学術情報，産学地域連携，国際交流担当）	風見正三	副学長
	理事（教育担当）	西川正純	
	理事（財務・施設担当）	工藤和浩	
	副学長（研究，学術情報，産学地域連携，国際交流担当）	風見正三	（再掲）
	学術情報センター長	茅原拓朗	
	情報システムセンター長	木村和彦	
	国際交流・留学生センター長	川島滋和	
	研究推進・地域未来共創センター長	風見正三	（再掲）
	看護学群	武田和久	
	事業構想学群	土岐謙次	
	食産業学群	毛利哲	
	基盤教育群	仲宗根卓	
	看護学研究科	桑名佳代子	
	事業構想学研究科	櫻木晃裕	
	食産業学研究科	北辻政文	

※ 担当：研究推進・地域未来共創センター

公立大学法人宮城大学 研究費審査会 (基本規則第37条)

- ① 海外研究費の配分に関すること
- ② 指定研究費の配分に関すること

令和3年4月1日現在

役 職	職 名	氏 名	摘 要
委員長	副学長（研究，学術情報，産学地域連携，国際交流担当）	風見正三	
	理事（財務・施設担当）	工藤和浩	
	看護学群長兼看護学研究科長	高橋和子	
	事業構想学群長兼事業構想学研究科長	中田千彦	
	食産業学群長兼食産業学研究科長	西川正純	
	基盤教育群長	平岡善浩	
	学術情報センター長	茅原拓朗	
	情報システムセンター長	木村和彦	
	国際交流・留学生センター長	川島滋和	
	研究推進・地域未来共創センター長	風見正三	（再掲）

※ 担当：研究推進・地域未来共創センター

公立大学法人宮城大学 教育推進センター等役職員構成

(基本規則第38条)

令和3年4月1日現在

職 名	氏 名	摘要(主として勤務する学群・群)
アドミッションセンター長	井 上 誠	事業構想学群, キャンパス整備委員会委員長
アドミッションセンター副センター長	風 間 逸 郎	看護学群, スチューデントサービスセンター健康支援室長
〃	藤 澤 由 和	事業構想学群
〃	笠 原 紳	食産業学群, 高大連携推進室長
〃	M・ウィルソン	基盤教育群
高大連携推進室長	笠 原 紳	(再掲)
高大連携推進室副室長	畠 山 善 彦	特任
カリキュラムセンター長	蒔 苗 耕 司	事業構想学群
カリキュラムセンター副センター長	齊 藤 奈 緒	看護学群
〃	石 田 祐	事業構想学群
〃	森 田 明	食産業学群
コモンズ運営室長	井 上 達 志	食産業学群, スチューデントサービスセンター副センター長
コモンズ運営室副室長	三 好 俊 文	基盤教育群
地域連携実践教育推進室長	郷 古 雅 春	事業構想学群
地域連携実践教育推進室副室長	中 沢 峻	事業構想学群
スチューデントサービスセンター長	真 覚 健	看護学群
スチューデントサービスセンター副センター長	三 上 千 佳 子	看護学群
〃	石 内 鉄 平	事業構想学群
〃	井 上 達 志	(再掲)
〃	河 西 敏 幸	基盤教育群, 健康支援室副室長
健康支援室長	風 間 逸 郎	(再掲)
健康支援室副室長	河 西 敏 幸	(再掲)
キャリア・インターンシップセンター長	田 邊 信 之	事業構想学群
キャリア・インターンシップセンター副センター長	舟 引 敏 明	事業構想学群
〃	大 嶋 淳 俊	事業構想学群, インターンシップ開発室長
〃	高 橋 修	事業構想学群
〃	須 田 義 人	食産業学群, キャリア開発室長
キャリア開発室長	須 田 義 人	(再掲)
キャリア開発室副室長	竹 本 由 香 里	看護学群
〃	日 原 広 一	事業構想学群
インターンシップ開発室長	大 嶋 淳 俊	(再掲)
インターンシップ開発室副室長	堀 田 宗 徳	食産業学群
キャンパス整備委員会委員長	井 上 誠	(再掲)

公立大学法人宮城大学 全学センター役員構成

(基本規則第39条)

令和3年4月1日現在

職名	氏名	摘要(主として勤務する学群・群)
学術情報センター長	茅原拓朗	事業構想学群
学術情報センター副センター長	桂晶子	看護学群
〃	小林仁	食産業学群
情報システムセンター長	木村和彦	食産業学群, 教学IR室長
情報システムセンター副センター長	木村眞子	看護学群
〃	鈴木優	事業構想学群, 教学IR室副室長
教学IR室長	木村和彦	(再掲)
教学IR室副室長	鈴木優	(再掲)
国際交流・留学生センター長	川島滋和	食産業学群
国際交流・留学生センター副センター長	塩野悦子	看護学群
〃	須栗裕樹	事業構想学群
〃	山本まゆみ	基盤教育群
〃	曾根洋明	基盤教育群
研究推進・地域未来共創センター長	風見正三	事業構想学群
研究推進・地域未来共創センター副センター長(総括担当)	横田豊	
研究推進・地域未来共創センター副センター長(企画担当)	(調整中)	
研究推進・地域未来共創センター副センター長	金子さゆり	看護学群
〃	郷古雅春	事業構想学群
〃	佐々木秀之	事業構想学群
〃 兼太白分室長	金内誠	食産業学群

公立大学法人宮城大学 図書館, CIO, 附属農場役員構成

(基本規則第39条・40条, 最高情報責任者等の設置に関する規程2条・3条)

令和3年4月1日現在

職名	氏名	摘要(主として勤務する学群・群)
図書館長	風見正三	事業構想学群, 最高情報責任者(CIO)
図書館副館長	茅原拓朗	事業構想学群, 最高情報責任者(CIO)代理
最高情報責任者(CIO)	風見正三	(再掲)
最高情報責任者(CIO)代理	茅原拓朗	(再掲)
附属農場長	中村聡	食産業学群
附属農場副農場長(坪沼)	須田義人	食産業学群
〃(旗立)	中村茂雄	食産業学群

公立大学法人宮城大学 事務局幹部職員構成

(基本規則第43条)

令和3年4月1日現在

職名	氏名	摘要
事務局長	藤田博	
〃 次長兼総務課長	高橋秀明	
〃 財務課長	松本裕紀	
〃 企画・入試課長	坂隆次郎	
〃 学務課長	佐藤憲治	
〃 学術情報室長	佐藤尚志	
〃 太白事務室長	齊藤泰功	

IV その他業務実績評価の実施にあたり根拠となる資料